

指定管理者評価結果 (令和5年度対象) について

国分寺市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例第13条（指定管理者の評価）に基づき、指定管理者の管理運営に関する評価を行いましたので、その結果を公表いたします。

対象年度：令和5年度

対象件数：17 協定（52 施設）

総務部契約管財課指定管理担当

（国分寺市指定管理者評価委員会事務局）

指定管理者評価結果報告書
(令和 5 年度対象)

令和 6 年10月

国分寺市

目 次

1	指定管理者評価結果（令和5年度対象）一覧表	
2	指定管理者評価票	
(1)	プレイステーション	… 1
(2)	第二・第三日吉町学童保育所	… 5
(3)	西町地域センター、生きがいセンターにしまち、 にしまち児童館、西町学童保育所	… 9
(4)	もとまち地域センター、生きがいセンターもとまち	…13
(5)	いずみホール	…17
(6)	c o c o b u n j i プラザ	…21
(7)	有料自転車等駐車場 (西国分寺駅南口・第2、西国分寺駅北口・第2、 国分寺駅南口、国分寺駅南口原付、殿ヶ谷戸庭園西、 国分寺駅北口、国分寺駅北口地下)	…25
(8)	障害者センター	…29
(9)	体育施設 (スポーツセンター、ひかりスポーツセンター、戸倉野球場、 けやき運動場、本多武道館、戸倉第一・第二テニスコート、 室内プール)	…33
(10)	いきいきセンター	…37
(11)	福祉センター、生きがいセンターとくら	…41
(12)	介護老人保健施設すこやか、 高齢者在宅サービスセンターふれあい	…45
(13)	生きがいセンターさわやか	…49
(14)	しんまち児童館、第一・第二新町学童保育所、 戸倉学童保育所	…53
(15)	もとまち児童館、第一・第二東元町学童保育所	…57
(16)	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、第一日吉町学童保育所、 西恋ヶ窪学童保育所	…61
(17)	ひかり児童館、第一・第二・第三・第四光町学童保育所、 第三泉町学童保育所	…65

指定管理者評価結果（令和５年度対象）一覧表

	施設	指定管理者名	指定期間	主管課	指定管理者 評価	主管課 評価	評価委員会 評価	評価委員会における評価の理由等	市評価
1	プレイステーション	特定非営利活動法人 冒険遊び場の会	令和５年４月１日 ～ 令和６年３月31日 （１年間）	子ども子育て支援課	5	5	4	利用者に寄り添った運営を行っており、寄せられた意見に丁寧に対応するなど、温かな居場所となっていることがうかがえる。指定管理者は利用者とコミュニケーションをしっかりととりながら、施設の運営に尽力されていた。また、市として子どもが育まれる環境をどうしたいかということを、発信するメッセージとして重要な取組であると考ええる。 昨年度指摘のあったスケートボード利用についてルール作りをするなど、様々な遊びができるとともに、安全な施設運営に引き続き務めていただきたい。	4
2	第二日吉町学童保育所 第三日吉町学童保育所	株式会社アンジェリカ	令和３年４月１日 ～ 令和６年３月31日 （３年間）	子ども子育て支援課	4	4	3	児童や保護者との信頼関係を築くことを大切にしており、アンケート結果を見ても職員に対する感謝の言葉が多くあった。児童から出された意見を大切にし、行事などを企画運営するなど、充実した保育が行われていることがうかがえる。また、不測の事態に備え、警察署や消防署と連携して避難訓練などを毎月実施し、子どもたちの安全を確保するための取組を行っていたことは評価できる。 しかし、児童の受入れ時間誤りが２回起きてしまったことについて、事故につながりかねない事象であり、残念である。	3
3	西町地域センター 生きがいセンターにしまに しまち児童館 西町学童保育所	株式会社こどもの森	平成31年４月１日 ～ 令和６年３月31日 （５年間）	協働コミュニティ課 高齢福祉課 子ども子育て支援課	4	3	3	子どもから高齢者まで利用する複合施設として、来館者一人一人に丁寧に対応を行っていた。地域センターにおいては、年度の途中から開始された消費税における適格請求書等の発行事務の対応を行った。また、西町学童保育所においては、狭あい状況への対応として、学校の協力を得て学校施設を借用した分散保育を行っていた。アンケートに記載があったことへの対応も行っていた。令和６年度から新たな指定期間となった。引き続き確実な施設運営を行っていただきたい。	3
4	もとまち地域センター 生きがいセンターもとまち	株式会社東京リーガルマインド	令和４年４月１日 ～ 令和７年３月31日 （３年間）	協働コミュニティ課 高齢福祉課	3	3	3	地域センターにおいては、年度の途中から開始された消費税における適格請求書等の発行事務の対応を行った。また、生きがいセンターにおいては、高齢者が関心のあるスマートフォン教室やパソコン教室などを開催し、好評を得ている。複合施設として、来館者への丁寧な対応も心掛けていることがうかがえる。 ハード面の問題もあるが、利用率が低いことは残念である。指定管理期間最終年度においても、地域に根差した複合施設としてより良い運営を行っていただきたい。	3
5	いずみホール	株式会社ケイミックスパブリックビジネス	令和４年４月１日 ～ 令和９年３月31日 （５年間）	文化振興課	4	4	4	ホームページやＳＮＳの活用、インフォメーションの発行など積極的に情報発信をしており、様々な事業の告知が市民に届くよう取り組んでいた点は評価できる。子どもから高齢者まで多くの人が文化・芸術に触れる機会を提供している様子がうかがえる。また、利用者に対して丁寧に寄り添った対応をしており、利用者の満足度も高かった。指定管理期間の中間年となる令和６年度以降も、魅力のある施設運営を継続していただきたい。	4
6	c o c o b u n j i プラザ	株式会社京王設備サービス	令和３年４月１日 ～ 令和６年３月31日 （３年間）	文化振興課	4	4	4	市の主催事業や自主事業に積極的に取り組んでおり、カフェにおいては市のイベントと連動した限定メニューを提供し、また、施設において企画展示や映像の放映などを行い、市の魅力発信に貢献していた。イベントにおいては、内容により職員を適宜増員するなど、臨機応変に必要な人員体制を構築して対応していた。 令和６年度から新たな指定管理期間となった。引き続き丁寧な施設の管理運営を行っていただきたい。	4
7	有料自転車等駐車場 （西国分寺駅南口・第２、西国分寺駅北口・第２、国分寺駅南口、国分寺駅南口原付、殿ヶ谷戸庭園西、国分寺駅北口、国分寺駅北口地下）	株式会社ソーリン	令和５年４月１日 ～ 令和10年３月31日 （５年間）	交通対策課	3	3	3	新たに管理をすることとなった国分寺駅北口地下自転車駐車場について、当初、人員が十分に集まらなかった状況にあつて、本社員で応援体制を組んだことは、現場任せにすることなく会社としてしっかりと対応していただいたと考える。また、多くの人が利用する自転車等駐車場という施設において、アンケートでも多くの意見が寄せられた。それに対しても目を通して改善していこうとしていた。時間帯によって交通系ＩＣカードの利用が不可となる状況の改善も含め、令和６年度以降もより良い運営に努めていただきたい。	3
8	障害者センター	社会福祉法人万葉の里	令和５年４月１日 ～ 令和10年３月31日 （５年間）	障害福祉課	3	3	3	新型コロナウイルス感染症が５類感染症とされた後も、その他の感染症対応も含めて組織として対応し、集団感染等を生じさせなかった。また、専門的な研修を実施して人材の育成を行うなど、重症度の高い方の受入れについて対応を継続していた。しかし、個人情報の取扱いにおいて誤りがあったことについては残念である。市の障害福祉サービスとして重要な施設であることから、基本的な部分を大切にしつつ、引き続き障害者が安心して利用できる施設として管理運営を担っていただきたい。	3
9	体育施設（スポーツセンター、ひかりスポーツセンター、戸倉野球場、けやき運動場、本多武道館、戸倉第一・第二テニスコート、室内プール）	日本管財・ＴＡＣ共同事業体	令和５年４月１日 ～ 令和10年３月31日 （５年間） ※戸倉野球場は令和６年３月31日まで	スポーツ振興課	3	4	4	協定書において定められた事業の他にも多くの自主事業を実施し、スポーツの振興、市民の健康づくり等に貢献した。設備の面においては、老朽化による不具合等が発生しているが、迅速に対応し利用者の満足度を下げることがないよう努力をいただいていた。令和５年度から新たな指定管理期間となった。これまでの経験、実績等を生かして、魅力ある体育施設運営を担っていただきたい。	4

※評価基準は、「５．市の要求水準を大幅に上回っている」「４．市の要求水準を上回っている」「３．市の要求水準を満たしている」「２．改善が必要である」「１．抜本的見直しが必要である」

指定管理者評価結果（令和5年度対象）一覧表

	施設	指定管理者名	指定期間	主管課	指定管理者 評価	主管課 評価	評価委員会 評価	評価委員会における評価の理由等	市評価
10	いきいきセンター	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日 (5年間)	健康推進課	4	4	4	以前から行っている40歳代・50歳代の参加者を増やす取組について、本年度においても広報に力を入れるなど、引き続き実施していただいた。接遇において、アンケート結果で満足度が高く、令和4年度に導入した公共施設予約システムについての対応も丁寧に行い、トラブルとなるようなことは無かった。小さな施設ではあるが、健康保持及び増進を図るために利用者が安心し、心地よく利用できるよう、日常的な管理を引き続き丁寧に行っていただきたい。	4
11	福祉センター 生きがいセンターとくら	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日 (5年間)	地域共生推進課 高齢福祉課	4	4	4	福祉センターのイベントにおいても、生きがいセンターのイベントにおいても、近隣の第十小学校との連携を大切にし、多世代交流を実現させていた。施設面においては老朽化をしているが、清掃、整理整頓等の実施により利用者に心地よく使ってもらう努力をしていた。アンケートにおいては、センターに行こうという気持ちにさせてくれるといった声もあり、努力の結果が表れていた。 引き続き、施設の設置目的が達成されるよう、管理運営を行っていただきたい。	4
12	介護老人保健施設すこやか 高齢者在宅サービスセンター ふれあい	一般財団法人 国分寺市健康福祉 サービス協会	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日 (5年間)	高齢福祉課	3	3	3	経営の改善について努力をしていると推察するが、本年度の収支差額がマイナス2,600万円を超えていることについては、指定管理者の法人運営を心配するところである。このような状況下でありながらも、利用者へのサービスを適切に提供し、利用者満足度は3年連続で90%を超えており、この点について評価する。 施設としての制約からも、経営的に厳しい状況がうかがえるが、主管課と協議、調整等行いながら、利用者への介護保険サービスの提供を行っていただきたい。	3
13	生きがいセンターさわやか	特定非営利活動法人 あおぞら	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日 (5年間)	高齢福祉課	4	4	4	コロナ禍により実施できていなかった、健康吹矢、さわやか夏まつりを本年度に再開した。利用者の声に耳を傾け運営に取り入れることで、利用者満足度も高かった。自主事業の喫茶・軽食事業について、コロナ禍が明け、交流の場としての役割を果たすことと思われる。地域に根差した施設として、これまでどおり満足度が高い施設の運営を行っていただきたい。	4
14	しんまち児童館 第一新町学童保育所 第二新町学童保育所 戸倉学童保育所	株式会社こどもの森	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日 (5年間)	子ども子育て支援課	4	3	3	子どもたちの要望を聴き、保護者とも面談を実施するなど、サービスの向上や関係構築のための取組を行っていた。また、学校の協力を得て学校の施設を使用し、保育環境が密になり過ぎないようにする取組も行っていた。一方、報告書の提出等が遅れていたことについては、残念である。 利用者のニーズを捉え、子どもたちにとっても保護者にとっても、安心して過ごすことのできる児童館・学童保育所の管理運営を行っていただきたい。	3
15	もとまち児童館 第一東元町学童保育所 第二東元町学童保育所	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日 (5年間)	子ども子育て支援課	3	3	3	中高生がスタッフとして参加する夜の児童館探検を実施したり、開館時間を午後8時まで延長したりするなど、中高生の居場所づくりの取組を実施していた。また、近隣の方を講師に招き、子どもと保護者が参加できる体験教室を実施するなど、地域との連携も図っていた。苦情は無く丁寧な施設運営が見て取れる。引き続き、子どもや保護者の声を聴きつつ、丁寧な施設の管理運営に努めていただきたい。	3
16	第一東恋ヶ窪学童保育所 第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日 (5年間)	子ども子育て支援課	3	3	3	地域の方々との関係を大切にしており、その方たちの協力を得て行事を開催したり、マジックショーの披露をしていただいたりしていた。子どもたちからは、お礼のメッセージカードを渡し、双方向での交流がなされていた。職員の退職等への対応についても、法人として代替職員を適切に配置し、保育に当たっていた。令和6年度からの新たな指定管理期間においても、引き続き誠実に施設の管理運営を行っていただきたい。	3
17	ひかり児童館 第一光町学童保育所 第二光町学童保育所 第三光町学童保育所 第四光町学童保育所 第三泉町学童保育所	株式会社明日葉	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日 (5年間)	子ども子育て支援課	3	3	4	児童館・学童保育所の運営について、適切かつ丁寧に取り組んだことを高く評価する。利用者の要望を把握し、それらを運営に反映させていた。また、職員研修について、動画による研修を職員が受けたい時間に受けられる仕組みが構築されていた。さらに、地域との交流を積極的に推進していた。ただ、本年度において、850万円以上のマイナス収支となっている点が懸念される。担当課とも必要な協議、調整等を行いながら、管理運営を行っていただきたい。	4

※評価基準は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」

指定管理者評価票
(令和 5 年度対象)

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	国分寺市プレイステーション	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	特定非営利活動法人冒険遊び場の会	指定期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設の設置目的	青少年の健全育成を図る。		
事業概要	青少年が生き生きと安全に遊べる冒険遊び場として、国分寺市プレイステーションを運営する。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	31,256,302	30,783,649	34,270,133	96,310,084
収入内訳	指定管理料	29,571,840	30,108,105	34,170,000
	利用料金	0	80,500	88,600
	その他	1,684,462	595,044	11,533
支出	31,256,302	30,783,649	34,270,133	96,310,084
収支差額	0	0	0	0

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
画収 確の 支 適計	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づく執行状況は、適正であることを確認した。	3	3
業務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書及び仕様書等に基づいて、施設の特 性、利用者の年齢等に配慮し、適切な運営 がなされていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	職員のシフト表、タイムカード、活動日誌等 にて、仕様に基づく開館日及び時間は守ら れていた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	協定に基づき、安全面に配慮した必要な人員が 配置されていた。シフト変更の際の体制につい ては、シフト表に反映されており執行体制が明確 であった。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火 管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者を置き、適切に避難訓練等が実 施されていた。防火管理者名の施設内掲示 もなされていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報 告がされていたか	3	電磁的記録装置使用簿が整理され、時機を 逸することなく適正に報告がなされていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	施設内の備品、掲示物等、しっかり整理整 頓がなされており、施設全体が清潔に保た れていた。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施 されていたか	3	機械警備と清掃について、仕様書に基づき適切 に実施していた。法定点検については施設所有 事業者による点検を行っていることを確認した。	—	—

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	22,287人	25,096人	25,574人	24,319人
利用者満 足度(%)	96%	96%	97%	96%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	5	利用者アンケートにおける評価が、子どもアンケートでは、楽しかったの回答が97%、再度利用したいという項目が99%、大人アンケートでは、100%が職員に対して「よい感じ」との回答となっていた。自由記述では、職員への信頼が感じられる記述が多数あり、利用者の満足度が高いと言える。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	アンケート等により寄せられた利用者の声を受け止め、サービス向上に向け利用者の目線に立って解りやすく回答を示し、利用者へ開示していた。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	担当者のマナー、言葉づかいは、利用者の幅広い年齢層に合わせて、明るく声をかけ、適切な対応をしており、服装等は、利用者からスタッフとわかるようにビブスを着用し適切であった。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	4	近隣からの意見に対し、状況の改善に努めるため、迅速にきめ細かく丁寧に対応していた。青少年の健全育成に係る対応での苦慮もあり、辛抱強く対応していた。	4	4
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報は鍵付きのロッカーに保管し適切に格納されていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	5	職員全員参加の研修を、定期的実施している。充実度、意識の高さを感じた。また、ロールプレイングを取り入れた実践的な研修が行われており、研修で学んだことが日々のサービスの向上につながっている。	5	5
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	受入れに当たり、駐車場の配慮、野外遊び場の歩道の活用等、先方に寄り添う形で受け入れており、障害児のサービスを提供する事業者を含め、多くの障害のある人が安心して利用できていた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の準の特性に 評価に応じた	プレイリーダーの育成に関する講習会等は効果的に実施されているか	4	第1回目は5月21日に、フィールドワーク「外遊びを10倍楽しむスキル」というテーマで実施し、乳幼児のうちから戸外で自然に触れて遊ぶことの重要性を実践を伴い伝えることができた。第2回目は、12月17日に、シンポジウム「いろんな人と一緒に遊ぶあう・支え合う」を実施し、地域社会に溶け込み実際に活動する団体を招き、様々な人と共に生きることの工夫について学ぶことができていた。実施後には、プレイリーダーへの関心が寄せられており、効果的な実施となっていた。	4	—

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提選 す施案 状内 況容 価の 時の の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
					有	有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
					有	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
5	市の要求水準を大幅に上回っている	令和5年度においても本施設は、土や水などを使った遊びをはじめ、木工、炭づくり等の火を使った体験、ひみつ基地づくりなど、自然や野外での様々な遊びを体験できる場を創意工夫しながら提供し、利用者の満足度も高く、青少年の健全な育成に大きく寄与した。また、昨年度に引き続き「冒険遊び場における新たな子どもの仕事体験・居場所づくり推進事業」として令和5年度までを一区切り、子どもが店員として仕事を体験できる「駄菓子屋」、中・高校生世代が自ら居心地のいい場を作っている「夕暮れカフェ」及び子育て中の親子の交流の場としている「土日カフェ」の取組をそれぞれ継続し、指定管理事業と一体的に実施してきたことにより、全体的な利用者が増加した。本施設への移転後4年目を迎えたところだが、乳幼児親子から中高生世代まで幅広い世代の遊び・くつろぎ・交流の場所として機能していることを捉えることができた。中高生世代の居場所を保障する中では青少年の問題行動の対応に苦慮したが、他機関との連携を図り辛抱強く関わりを続けたことで、利用者ニーズの多様化を理解し連携で支え合うスキルを構築していた。 今後も引き続き、安全管理には十分留意しながら、効果的な施設の管理・運営に努められることを期待したい。	4	4
主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
5	市の要求水準を大幅に上回っている	・今年度は、全体の利用者は、イベントを除き、25,574名だった。昨年度と比べ、478名の利用者が増加した。そのうち、親子ひろばの利用者は10,567名で前年度より、1,192名増加した。駄菓子屋、土日カフェの効果もあり、土曜日の利用者がとても多く、利用者増加に伴い、安全確保のためにプレイリーダーを加配しての活動を行った。また、その人数に加え、夕暮れカフェでの中高生は、1,343名の利用があった。夕暮れカフェ開設前は中高生の利用がとても少なかったもので、格段に増加し、中高生の居場所として機能し始めている。1年を通じて行った「駄菓子屋」「土日カフェ」「夕暮れカフェ」の活動がプレイステーションの利用者増に加え、小学生、中高生、親子たちそれぞれにとつての、いい居場所となったことが実感できた1年だった。 ・利用者アンケート(1ヶ月間実施)からは、プレイステーションの満足度は、大人100%、子ども97%、親子ひろばは、96%であった。自由記述欄からは、プレイステーションや親子ひろばの存在価値や良さが多く述べられていた。 ・アンケート結果からは利用者の満足度が高かったが、学校に行っていない子や、家庭などに様々な事情を抱えた子どもたちが多く遊びに来ていることから、0歳から18歳未満までの子どもたちが来る遊び場としては、全ての利用者に満足いく形での運営の難しさも抱えているのも事実である。今年度は、さらに、子ども同士のトラブルもあり、年間通じて、職員間の話し合いを多く持ちながら、担当課とも話し合いを重ねてきた。多くの事情を抱えた子どもたちが来ることができる居場所としてのプレイステーション、そして、全ての子どもたちにとつても、よりよいプレイステーションのあり方を考えながら活動をおこなった1年だった。	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	利用者に寄り添った運営を行っており、寄せられた意見に丁寧に対応するなど、温かな居場所となっていることがうかがえる。指定管理者は利用者とのコミュニケーションをしっかりととりながら、施設の運営に尽力されていた。また、市として子どもが育まれる環境をどうしたいかということ、発信するメッセージとして重要な取組であると考え。 昨年度指摘のあったスケートボード利用についてルール作りをするなど、様々な遊びができるとともに、安全な施設運営に引き続き務めていただきたい。	4	4

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	第二・第三日吉町学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	株式会社 アンジェリカ	指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	31,890,154	32,689,767	31,893,086	96,473,007
収入内訳	指定管理料	31,752,803	31,008,686	94,371,429
	利用料金	0	0	0
	その他	137,351	884,400	2,101,578
支出	30,669,243	31,837,311	30,678,174	93,184,728
収支差額	1,220,911	852,456	1,214,912	3,288,279

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
確 画 収 の 支 性 適 計	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	実施すべき業務について、協定書・仕様書に基づき確実に行われており、団体の職員間で随時協定書・仕様書を基に再確認していた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	4	市の条例等に基づいた開所日を遵守している。開所時間については、私学に通う児童の受入時間の誤りの発生があった。	4	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	常勤支援員4名(1支援単位2名ずつ)、放課後児童支援員5名。常勤職員はすべて放課後児童支援員(認定研修受講済)であり、必要数を確保していた。	4	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	資格を有した者が防火管理者を配置されており、防火管理者名が掲示されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は鍵のかかるキャビネットに保管し必要な報告がなされていた。行事等の事業報告は、遅れることなくされていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	児童の登所前及び降所後の掃除・雑巾がけ、扉や窓、備品等の清掃を継続して行っており、施設全体が清潔に保たれている。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	予定されていた点検等は遅滞なく実施され、仕様書で定める法定点検等を適正に行っていた。	3	3

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	第二日吉町学童	31.2%	第二日吉町学童	64.4%	第二日吉町学童	68.9%	第二日吉町学童 54.8%
	第三日吉町学童	36.6%	第三日吉町学童	57.8%	第三日吉町学童	93.8%	第三日吉町学童 62.7%
	※利用率(平均出席人数/定員数)		※利用率(平均出席人数/定員数)		※利用率(平均出席人数/定員数)		※利用率(平均出席人数/定員数)
利用者満足度(%)	第二・第三日吉町学童	96.6%	第二・第三日吉町学童	100.0%	第二・第三日吉町学童	98.0%	第二・第三日吉町学童 98.2%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	10月に実施した利用者アンケートでは、全体に対しての満足度において、98%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、高い水準を確保していた。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	子どもの様子を知りたいとの要望への対応を継続しており、連絡帳やお迎え時でこまめにお伝えし、ブログでも様子を発信していた。	4	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	5	利用者アンケートの職員に対しての満足度において、100%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、とても高い水準を確保していた。担当者は保育に適切な服装であり、礼儀正しく、利用者アンケートでは、「学童担当者が児童をよく見てくれ、親切で素晴らしい方ばかり。」等、保護者から感謝の記述を多くいただいていた。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	児童の受入れ時間の誤りに対するクレームが発生し、丁寧な謝罪をしていたが、同児童に同内容の誤りの再発があり、迅速に謝罪対応をした。	4	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報の入った書類については、施設の上、書庫に格納し、パソコンは施設長が施設の上、書庫に格納していた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	指定管理者独自の研修の他、市が主催する障害児への対応や子どもの遊びに関わる研修への参加を確認した。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	加配を必要とする児童に必要な支援を職員間で情報共有するため、共有ノートを活用し丁寧な個別対応を行っていた。保護者と適宜情報交換し、家庭や学童保育所での様子を共有していた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の 水の特性に 応じた	自然災害等への対応	4	毎月避難訓練を実施しており、防災かるたや不審者対策をクイズ形式にして子どもたちに解りやすくする等工夫を凝らした訓練が行っていた。消防署員による消火訓練や応急救護訓練も実施していた。	4	4
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	4	放課後子どもプランで一般児童を受け入れたドッジボールの場を保障していた。地域の町内会長との連携を継続し、随時双方のおたよりを交換し関係性の構築を図った。障害者就労支援施設でのおやつ購入や、地域のケーキ店等とのつながりの幅を広げ「美味ぶんじおやつ」と称して地元のおやつを提供して児童の育成支援へ取り組んだ。	4	4
	配慮を要する児童への対応について	3	毎日2名以上でアレルギー児の読み合わせを行い、おやつ提供では、皿の色変えと他児より先に配膳として、提供ミスの防止を徹底している。また症状の程度により、アレルギー用の机を準備して対応していた。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案 する 状況 内容 評価 の 選定時の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
					有	有
					実施 有無	実施 有無
					有	有
指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか		有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
					有	有
					実施 有無	実施 有無
					有	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	令和5年度も子ども会議で3年生の司会進行のもと、児童同士で話し合いによって出された意見等を大切に反映させながら、各種遊びや行事を企画実施するとともに、育成支援の内容を希望の方には面談、日頃の様子はブログ等様々な方法で保護者と共有することで、児童及び保護者との信頼関係が構築され、充実した保育が展開されていることが、利用者アンケート等からも伺うことができた。指定管理期間の最終年度となった今年度において、児童一人一人の特性等、丁寧な引継ぎも行っていた。また、防災・防犯訓練を毎月実施するとともに、怪我、事故発生時にはマニュアル等に基づき迅速かつ丁寧な対応がなされており、適切な安全管理が行われていた。	3	3
主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	仕様書などを踏まえ、市の要求水準を守り、適切に実行する事はもちろん、第一日吉町学童との連携や、学校、地域との連携を丁寧に取らながら、活動を行うことが出来た。離職者など最小限に抑えられた事で、利用者の安心感も高まり、良好なアンケートの結果に繋がったと考えている。日々の業務に対する配慮や、職員の適切な対応から事故怪我なども抑えられ、大きなクレームがなかった事からも利用者の満足度は水準以上だったと考えている。	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	児童や保護者との信頼関係を築くことを大切にしており、アンケート結果を見ても職員に対する感謝の言葉が多くあった。児童から出された意見を大切に、行事などを企画運営するなど、充実した保育が行われていることがうかがえる。また、不測の事態に備え、警察署や消防署と連携して避難訓練などを毎月実施し、子どもたちの安全を確保するための取組を行っていたことは評価できる。 しかし、児童の受入れ時間誤りが2回起きてしまったことについて、事故につながりかねない事象であり、残念である。	4	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	西町地域センター・生きがいセンターにしまち・にしまち児童館・西町学童保育所	所属名	市民生活部 協働コミュニティ課・福祉部 高齢福祉課・子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	株式会社こどもの森	指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設の設置目的	地域センター:市民の集会、学習及び交流の場として国分寺市立地域センターを提供し、市民文化の向上と福祉の増進に寄与するため。 生きがいセンター:高齢者が健康で生きがいを持って生活することができるよう、相互の交流を促進し、心身の維持、向上を図るため。 児童館:児童厚生施設として、遊びの場を提供し、子どもたちの健全な育成や親の子育てを支援する。 学童保育所:保護者の就労等により昼間適切な監視を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	地域センター:コミュニティ施策の推進、地域センターの管理運営及び施設の貸出しに関すること。 生きがいセンター:60歳以上の市民の教養向上・レクリエーション等随時利用できる場所の提供・市民の心身の健康増進に関すること。 児童館:子どもに対する遊びや文化の提供、子どもの健全育成に係ること。 学童保育所:子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係ること。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	68,990,729	71,674,523	70,365,063	211,030,315
収入内訳	指定管理料	68,876,320	70,264,859	69,735,666
	利用料金	0	0	0
	その他	114,409	1,409,664	629,397
支出	68,833,119	71,585,567	70,190,628	210,609,314
収支差額	157,610	88,956	174,435	421,001

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
画収の支適計 確性	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	予算額に対し決算額が超過している予算科目が一部あるものの、収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業務の履行状況の評価	協定等に基づき業務が実施されていたか	4	協定書に基づき適切に業務が実施されていた。職員同士の情報共有のコミュニケーションアプリや連絡ノートを活用し、円滑な管理・運営に向けた工夫がされていた。	4	4
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	業務仕様書等に定められた開館日数・開館時間が守られていた。	3	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	協定書上の必要な職員・支援員等を配置し、日々の運営も基準を満たした職員配置をしていることを確認した。	3	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者、放課後児童支援員及び認定研修受講資格を持つ者が配置されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は施錠できる書棚に保管するなど、適正な管理をしていることを確認し、事務室内は書類が整理整頓されていた。児童館での怪我の報告等も迅速に報告されていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	衛生管理に係る計画に基づき、日常業務の中で職員による清掃が行われ、施設が清潔に保たれていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	予定されていた点検等は遅滞なく実施された。	3	3

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	【西町地域センター】 利用率:43.5%	【西町地域センター】 利用率:40.8%	【西町地域センター】 利用率:42.1%	【西町地域センター】 利用率:42.1%
	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:4,058人 (内訳) 個人利用者数:2,023人 団体等利用者数:2,035人 利用率:33.3%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:4,340人 (内訳) 個人利用者数:1,794人 団体等利用者数:2,546人 利用率:40.2%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:5,219人 (内訳) 個人利用者数:1,579人 団体等利用者数:3,640人 利用率:41.9%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:4,539人 (内訳) 個人利用者数:1,799人 団体等利用者数:2,740人 利用率:38.5%
	【にしまち児童館】 延べ利用者数:11,224人 【西町学童】 利用率:84.3%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:18,130人 【西町学童】 利用率:90.7%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:18,740人 【西町学童】 利用率:92.0%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:16,019人 【西町学童】 利用率:89.0%
利用者満 足度(%)	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 94%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 97%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 94%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 95%
	【にしまち児童館】 100.0% 【西町学童】 97.5%	【にしまち児童館】 98.0% 【西町学童】 91.7%	【にしまち児童館】 91.0% 【西町学童】 92.9%	【にしまち児童館】 96.3% 【西町学童】 94.0%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	西町プラザ及び西町学童保育所の全ての施設において90%以上の満足度を得ており、高い水準を確保している。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	公共施設予約システム利用者端末での操作が不慣れな利用者に対し、スムーズな手続が行えるよう、積極的に補助を行っていた。また、児童館においては子どもたちの意見を職員の回答つきで館内に掲示し、学童においては手作りおやつ、手作り昼食も実施し好評であった。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	職員のマナー、言葉づかい、服装等は公共施設であることを十分に認識し、適切であった。	3	3
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	適宜研修を行い、事故の連絡マニュアルも事務室内に掲示していた。	3	3
	個人情報が適切に取り扱われていたか	3	個人情報管理に係る計画に基づき、個人情報記載された書類については、施錠できる書棚に保管するなど、厳格な情報管理がなされていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	従事者育成に係る研修計画に基づき、全ての研修が実施されていた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	利用者ごとの特性に応じた適切なものであることを確認した。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の準性の評価に 応じた	利用者協議会等の運営(協議会を開催し、その意見を西町プラザの運営に反映すること)	3	利用者協議会が4年振りに開催され、利用者間の意見交換や調整を行っていた。	3	3
	地域との連携(西町プラザまつりを支援・協力し、地域の祭り等に参加すること)	3	4年振りに規模を縮小して西町プラザまつりが開催された。実行委員会と地域住民との連携により活動発表やバザーなど様々な企画を実施し、多世代交流が図られた。	3	3
	高齢者の健康づくりを目的とした自主事業を、地域特性、複合施設などの施設の特徴及び利用者の声などをもとに企画し実施している。	3	高齢者の健康づくりを目的とした自主事業として、利用者から継続希望のある「落語会」を企画し実施した。	3	4
	自然災害等への対応	4	児童館では、引き続き館内に子どもが書いた避難経路のポスターや避難経路地図が複数掲示され、机上訓練も含め令和4年度よりも多く毎月避難訓練を実施した。学童では、計画通り2か月ごとに避難訓練実施した。	3	4
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	3	老人会とのしめ縄づくりや敬老の日に向けたメッセージ作りなど複合施設ならではの交流を行った。学童では、八小の家庭科室を借用した分散保育を継続し、放課後プランとも連携し参加していた。	3	3
	配慮を要する児童への対応について	3	学童では、加配児には障害児入所協議会で決定した適切な加配職員を配置しており、配慮を要する児童については学校の担任とも連携していた。アレルギー児のおやつは保存している棚や皿を分け氏名も記載し適切に対応していた。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案選定時の 状況 評価に の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
					有	有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
					有	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	【西町地域センター】 使用承認業務や施設維持管理等は、条例・規則等の規定及び協定書・仕様書の内容に基づき実施され、法定点検も遅滞なく行っていた。また、公共施設予約システムに対して「利用しにくい」との意見をいただいたが、窓口できめ細かい補助を行うなど利便性の向上に努めていた。施設使用料の納付に係る適格請求書の交付については、年度途中の事務処理変更であったが、適切に処理が行われた。 自主事業では、利用者のニーズに応え、地域センター及び生きがいセンター利用者団体の合同作品展覧会を実施し、利用者の交流機会が提供された。 【生きがいセンターにしまち】 市の方針に沿って、迅速かつ丁寧な対応を利用者へ行っており、大きな混乱もなく、運営がなされていた。公共施設予約システム導入において、利用者には丁寧な説明と案内を実施し、スムーズな運用を実施している。自主事業においても、状況にあわせて工夫を凝らし実施されていたので、今後も利用者に関与した運営を期待する。 【にしまち児童館・西町学童保育所】 児童館については、にしまちカフェなどの乳幼児親子向けの行事やウエストタウンまつりを再開し、また、カードゲーム大会等の様々なイベントを実施するなど、利用者のニーズを捉えた施設運営がなされていた。また、児童館では毎月避難訓練を実施し、自然災害への対応を適切に行っていた。学童保育所については、学校の協力を得て学校施設を借用して分散保育を行うとともに、手作りおやつを月2回実施するなど丁寧な保育が実施され、利用者アンケートの御意見でも好評な様子が見られた。今後も学校及び地域等とのつながりや利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用者のニーズを捉えた様々な行事等を実施するとともに、安心・安全な施設の管理運営に努められることを期待したい。	3	3
主管課長：協働コミュニティ課長 氏名：小坂 彰久 主管課長：高齢福祉課長 氏名：澤田 元織 主管課長：子ども子育て支援課長 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	利用者の言葉に耳を傾け、利用者が快適に過ごせる様に改善を行った。自主事業として季節を感じられる皆の憩いの場となるように、施設内の飾りつけを行い利用者に季節を感じてもらった。利用者協議会の活動を活性化させるためにその資金となる資源物回収に協力した。利用者の「やりたい」という声を聞き、今年度は西町プラザまつりを開催し多くの方に楽しんでもらい、地域の活性化に努めた。利用者協議会役員会と連携した。作品発表の場として生きがいセンターと地域センターの利用団体による展示会を企画実施した。	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	子どもから高齢者まで利用する複合施設として、来館者一人一人に丁寧な対応を行っていた。地域センターにおいては、年度の途中から開始された消費税における適格請求書等の発行事務の対応を行った。また、西町学童保育所においては、狭あい状況への対応として、学校の協力を得て学校施設を借用した分散保育を行っていた。アンケートに記載があったことへの対応も行っていた。令和6年度から新たな指定期間となった。引き続き確実な施設運営を行っていただきたい。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	もともち地域センター・生きがいセンターもともち	所属名	市民生活部 協働コミュニティ課 福祉部 高齢福祉課
指定管理者名	株式会社東京リーガルマインド	指定期間	令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
施設の設置目的	地域センター:市民の集会、学習及び交流の場として地域センターを提供し、市民文化の向上と福祉の増進に寄与するため。 生きがいセンター:高齢者が健康で生きがいを持って生活することができるよう、相互の交流を促進し、心身の維持、向上を図るため。		
事業概要	地域センター:コミュニティ施策の推進、地域センターの管理運営及び施設の貸出しに関する事。 生きがいセンター:60歳以上の市民の教養向上・レクリエーション等随時利用できる場所の提供・市民の心身の健康増進に関する事。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	14,011,420	15,708,174	15,302,961	45,022,555
収入内訳	指定管理料	14,011,420	15,524,078	44,838,459
	利用料金	0	0	0
	その他	0	184,096	184,096
支出	12,940,493	15,500,005	14,757,211	43,197,709
収支差額	1,070,927	208,169	545,750	1,824,846

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	利用者協議会主催のもともちプラザまつりが開催できなかったため、一部、予算未執行科目があるものの、収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業務の 履行 状況 の評価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定等に基づき適切に業務が実施されていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	条例及び協定等に規定された開館日、開館時間を遵守されていた。	3	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	職員が1名退職しているが、業務に支障がないようにシフトを組んで対応していることを確認した。	3	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者の必要な有資格者が確保されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は、管理事務室内の施錠できる書庫に保管し、適切に取り扱われてた。また、月次報告及び自主事業実施報告書等の必要な報告がなされていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	週1回、業者による清掃を実施しているほか、毎日の現場管理員の清掃により清潔に保たれていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	報告書等の書類確認や現地調査の結果、適切に実施されていることを確認した。	3	3

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用率	【地域センター】 利用率:27.1%	【地域センター】 利用率:27.9%	【地域センター】 利用率:28.5%	【地域センター】 利用率:27.8%
利用者数	【生きがいセンター】 利用者数:797人	【生きがいセンター】 利用者数:1,007人	【生きがいセンター】 利用者数:1,102人	【生きがいセンター】 利用者数:969人
利用者満足度(%)	94.1%	96.4%	93.0%	94.5%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	90%を超える満足度を得ており、高い水準を確保している。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	アンケート結果を参考に、新規講座を開設するなど利用者の声を自主事業へ反映している。また、老朽化したスリッパの交換を行うなど、サービスの向上を図っている。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	職員のマナー、言葉づかい、服装等は公共施設であることを十分に認識し、適切であった。	3	3
	クレーム等に対して適切に対処していたか	4	利用者ではなく、近隣住民からのクレームであったが、事業報告書から、対応していたことが確認できた。	4	4
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報を処理するパソコンとインターネット接続のパソコンを区別し、権限を施設長に限定するなどの工夫がなされていた。また、個人情報に関わる書類も、都度、施錠できる棚に格納し、適切に取り扱われていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	業務に必要な研修を実施していた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	車椅子やシルバーカーを使用した利用者に対して、積極的に補助を行うなど、適切な対応がなされていた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	3
施設の準特性に 評価した	利用者協議会等の運営(協議会を開催し、その意見をもとまちプラザの運営に反映すること)	3	利用者協議会は、令和2年度以降開催されていなかったが、令和5年11月に再開された。本協議会との連絡・調整を密に行いながら、もとまちプラザの運営に関する意見を聴取する体制を整えていることを確認した。	3	3
	地域との連携(もとまちプラザまつりを支援・協力し、地域の祭り等に参加すること)	3	前年度から引き続き、もとまちプラザまつりは中止となったが、決定までの間、実行委員長との連絡・調整は適切に行っていた。	3	3
	高齢者の健康づくりを目的とした自主事業を、地域特性、複合施設などの施設の特徴及び利用者の声などをもとに企画し実施している。	3	計画された自主事業を全て実施している。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案選定時の 状況内容の 評価にの	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	無	提案 有無	提案 有無
					実施 有無	実施 有無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
					実施 有無	実施 有無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	【もとまち地域センター】 使用承認業務や施設維持管理等は、条例・規則等の規定及び協定書・仕様書の内容に基づき実施され、法定点検も遅滞なく行っていた。また、公共施設予約システムに対して「利用しにくい」との意見をいただいたが、窓口できめ細かい補助を行うなど利便性の向上に努めていた。施設使用料の納付に係る適格請求書の交付については、年度途中の事務処理変更であったが、適切に処理が行われた。 自主事業では、調整不足等による中止が複数の講座であったことから、今後は事前準備と確認を適切に行い、利用促進に資する企画の運営に努めていただきたい。 また、事業計画書及び事業報告書の精度を高めるよう、チェック体制の強化を求めた。 【生きがいセンターもとまち】 利用者の理解を得るために丁寧な対応を図り、安全で安心な運営を行っていた。自主事業についても、就労支援やPC講座など高齢者の生活に合わせた企画・運営することができる体制があるため、引き続き、利用者の声を取り入れた運営を期待したい。	3	3
		主管課長：協働コミュニティ課長 氏名：小坂 彰久	主管課長：高齢福祉課長 氏名：澤田 元織	

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	本年度はコロナ禍が収まり、以前のように休館、夜間利用の中止もなく、一年を平穩に終えることができました。自主事業においては、講師都合等で中止となった事業があり、計画のとおり履行できませんでした。また季節のイベントは前年に引き続き、館内装飾に留めましたが、大きく壁面を利用したり、配布物を作成したり工夫しながら対応しました。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	地域センターにおいては、年度の途中から開始された消費税における適格請求書等の発行事務の対応を行った。また、生きがいセンターにおいては、高齢者が関心のあるスマートフォン教室やパソコン教室などを開催し、好評を得ている。複合施設として、来館者への丁寧な対応も心掛けていることがうかがえる。 ハード面の問題もあるが、利用率が低いことは残念である。指定管理期間最終年度においても、地域に根差した複合施設としてより良い運営を行っていただきたい。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	国分寺市立いずみホール	所属名	市民生活部 文化振興課
指定管理者名	株式会社ケイミックスパブリックビジネス	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設の設置目的	市民の芸術、文化活動の普及振興を図ることにより市民文化の向上に寄与する。		
事業概要	市民の芸術、文化活動の普及、施設の管理運営		

令和3年度までは前指定管理者(灰色部分)

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	68,768,690	94,606,497	93,361,461	256,736,648
収入内訳				
指定管理料	68,420,000	92,429,000	92,909,536	253,758,536
利用料金	0	0	0	0
その他	348,690	2,177,497	451,925	297,8112
支出	68,251,293	85,444,049	85,650,229	239,345,571
収支差額	517,397	9,162,448	7,711,232	17,391,077

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画書に基づき、適正に執行されていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	4	協定等や公募時に提出された、事業計画及び企画提案書に基づき、ホールの運営に必要な業務が的確に実施されていた。	4	4
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	4	開館日数及び開館時間は遵守されていた。また、受付時間を午後10時までに拡大するなど、サービス向上に努めていた。	4	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	適正な体制で執行され、勤務予定表も事前に作成されていた。貸館やイベント内容により増員するなど、臨機応変に対応していた。	4	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	4	管理運営に必要な防火管理者は既に確保されているが、より多くの職員が防火管理者の有資格者となるよう努めていた。	4	4
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は施錠できるキャビネットに保管しており、適正に管理されていた。また、適宜、研修を行うなど、指導も実施していた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	日常清掃及び定期清掃が適正に実施されており、清潔に保たれていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	4	法定点検や検査等は確実に実施し、適宜、市に報告されている。また、その結果に応じた対応も適切かつ迅速であった。	4	4

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	77.07% (控室は除く)	89.88% (控室は除く)	94.04% (控室は除く)	86.99% (控室は除く)
利用者満足度(%)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	年2回の利用者アンケートの他に利用者意見交換会を行い、高い評価が得られている。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	利用者からの要望及び利用者アンケートでの意見等を受け、迅速かつ的確な改善等が図られていた。また、顧客満足度第三者調査も実施されていた。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートからも、事務所スタッフ及び舞台スタッフの対応の対応に関しては高い評価を得ている。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	クレーム等があった際には、所管課に適時報告し、必要に応じて協議を行い、適切に対応していた。	3	3
	個人情報が適切に取り扱われていたか	3	個人情報に記載されている書類は施錠できるキャビネットに保管されており、適切に扱われていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	人権研修や接遇マナー研修、危機管理研修などが計画的に行われ、職員の資格取得につながるよう努めていた。	4	4
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	障害手帳をお持ちの利用者への減免の案内、車椅子の来館者に対してはドアの開け閉めを行うなど、利用者目線での対応に努めていた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の準の性の評価に 応じ	広く市民に受け入れられる主催事業の実施及び「いずみ春の祭典」へ協力したか	4	子どもから高齢者まで様々な人が文化・芸術に触れる機会を提供し、幅広いジャンルで主催事業が開催された。また、いずみ春の祭典では実行委員会と緊密に連携し、スムーズに運営されていた。	4	4
	情報発信(ホームページ事業など)を積極的に行っているか	4	ホームページは、随時最新情報が掲載していた。また、催しものや、イベント情報などの情報発信をSNSや年3回インフォメーションを発行するなど積極的に行っていた。	4	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案 する 状況 内容 の 評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
		有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	実施 有無	実施 有無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
		有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	実施 有無	実施 有無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	新たな指定管理者に変更して2年目になり、市と連携を図りながら、適切かつ円滑に管理運営が行われている。市との連携はもちろんのこと、いずみホール運営委員会とも話し合いを重ね、主催事業や自主事業、年3回のインフォメーションの発行、開館時間中の受付業務を午後10時まで拡大することを継続、常勤職員全員に甲種防火管理者講習を修了させ有資格者を確保するなど、サービス向上に努める取組についても評価する。また、利用者からの評価も高く、音楽ホールとしての機能維持に欠かせないサービスの提供を行った結果であると考ええる。なお、老朽化している設備関係の修繕対応についても、関係事業者と調整を行い、施設の適正な維持に大きく貢献しているものと考ええる。	4	4
主管課長：文化振興課長 氏名：鈴木 淳 司				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	運営2年目において、弊社ノウハウの活用による積極的なサービス向上を図り、利用者に快適にご利用いただくことで、高い満足度をいただいた。また、様々な事業の開催により、多くの市民にお楽しみいただいた。所管課とも緊密に連携し、適正な管理運営が実施できたと考える。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	ホームページやSNSの活用、インフォメーションの発行など積極的に情報発信をしており、様々な事業の告知が市民に届くよう取り組んでいた点は評価できる。子どもから高齢者まで多くの人が文化・芸術に触れる機会を提供している様子がうかがえる。また、利用者に対して丁寧に寄り添った対応をしており、利用者の満足度も高かった。指定管理期間の中間年となる令和6年度以降も、魅力のある施設運営を継続していただきたい。	4	4

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	国分寺市立cocobunjiプラザ	所属名	市民生活部 文化振興課
指定管理者名	株式会社京王設備サービス	指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日
施設の設置目的	市民の多彩な交流と活動の場を創出し、まちの魅力を発信するとともに、市民文化の向上に寄与する。		
事業概要	施設の管理運営、市主催事業の実施、カフェ・レストランの運営		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	81,601,749	80,808,355	80,799,761	243,209,865
収入内訳				
指定管理料	81,326,697	79,577,697	80,344,617	241,249,011
利用料金	0	0	0	0
その他	275,052	1,230,658	455,144	1,960,854
支出	72,957,006	74,551,286	77,288,687	224,796,979
収支差額	8,644,743	6,257,069	3,511,074	18,412,886

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき、適正に執行されていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	4	協定書等に基づき、施設の管理運営は適正に実施されていた。施設内の犯罪発生抑止策として、防犯強化の取組が講じられていた。	4	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	開館日数及び開館時間は遵守されていた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	適正な体制で執行され、勤務予定表も事前に作成されていた。貸館やイベント内容により増員するなど、臨機応変に対応していた。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	4	防火管理者は確保されていた。施設管理に必要な上級救命講習を全運営スタッフに受講させ、有資格者を配置していた。	4	4
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は施錠できるキャビネットに保管しており、適正に管理されていた。毎月、定例会議を実施し、必要な報告もなされている。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	日常清掃及び定期清掃が適正に実施されており、施設内の美観が高い水準で保たれていた。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	4	法定点検や検査等は確実に実施し、適宜、市に報告されていた。また、簡易CO2濃度測定器を導入し適正環境維持に努めていた。	4	3

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 (利用率)	70. 0% (リオンホール)	71. 2% (リオンホール)	80. 6% (リオンホール)	73. 9% (リオンホール)
利用者満足度(%)	100. 0% (スタッフの印象)	100. 0% (スタッフの印象)	100. 0% (スタッフの印象)	100. 0% (スタッフの印象)

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートの結果からも、総じて良い評価を得ている。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	利用者アンケートや施設利用者からの要望・意見を尊重し、サービスの向上に努めていた。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートからも、スタッフの対応に関しては高い評価を得ている。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	寄せられるクレーム等については、適宜、市と共有し、適切に対応していた。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	4	書類は施錠できるキャビネットに保管しており、適正に管理されていた。また、適宜、研修を行うなど、指導も実施していた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	社内外研修、OJT、また資料を回覧するなどして、適宜、指導を行っていた。避難訓練コンサートなどにも積極的に参加していた。	4	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	市の指針に基づき、補助グッズを設置・活用し、さらに、窓口に「対話型拡声器」を設置し、利用者への配慮に努めていた。	4	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の準性の評価に値した	カフェ・レストラン運営業務が適切に行われているか	4	コロナ禍における東京都感染防止点検に基づいた対策を十分に講じて運営するとともに、市のイベントと連動した限定メニューを提供するなど、市の魅力発信に貢献する運営がなされていた。	4	4
	まちのぶんかターミナルとして、積極的に情報発信を行っているか	4	施設内にこくぶんMAPを設置・活用し、市内活動の紹介など情報を発信した。いずみホール専用掲示板の設置等、積極的に市の魅力発信に貢献する運営がなされていた。	4	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案選定時の状況評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 実施有無	提案有無 実施有無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 実施有無	提案有無 実施有無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	指定管理者制度へ移行して3年目になり、市と連携を図りながら、適正かつ円滑に管理運営が行われている。日々の施設管理運営はもちろん、日常清掃及び定期清掃が適正に実施されており、施設内の美観が高い水準で保たれている。利用者アンケートの結果からも、総じて良い評価を得ている。また、上級救命講習を全運営スタッフに受講させ有資格者を配置する有事の備え、さらに、サービス介助士有資格者を配置する合理的配慮等への取組についても評価する。市主催事業や自主事業についても、適正かつ柔軟に取り組まれ、カフェでの市のイベントと連動した限定メニューの提供、国分寺市広報ラジオ番組やメディアでの積極的な情報発信、施設内において毎回新たな企画展示や映像放映を実施するなど、まちの魅力の発掘・発信に高く貢献しているものとする。	4	3
主管課長：文化振興課長 氏名：鈴木 淳 司				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	来館者の「利用しやすい施設環境」を目指した防犯対策、機器予防保全、美観向上に日々取り組むとともに、施設運営経験を基にしたスタッフ教育の実施と有資格者の配置によって、適切な案内と適時対応を行い、「クレーム防止」と「安心・安全」や「不安の解消」に繋げた。その結果、施設利用者アンケートでは95%以上の満足評価を得るとともに苦情を0件とすることができた。また、市及び地域団体との積極的な連携・協働・協力によって事業企画を作り上げるとともに、Web、マスコミ、公共交通機関広告といった様々な広報・宣伝媒体と指定管理者グループの繋がりを駆使した地域内外へ向けた「市の魅力」情報を発信することで、事業企画の満足度やリピーターの確保に繋げるなど、人と文化の交流拠点として役割を果たした。	4	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	市の主催事業や自主事業に積極的に取り組んでおり、カフェにおいては市のイベントと連動した限定メニューを提供し、また、施設において企画展示や映像の放映などを行い、市の魅力発信に貢献していた。イベントにおいては、内容により職員を適宜増員するなど、臨機応変に必要な人員体制を構築して対応していた。 令和6年度から新たな指定管理期間となった。引き続き丁寧な施設の管理運営を行っていただきたい。	4	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	西国分寺駅南口自転車駐車場他8場	所属名	建設環境部 交通対策課
指定管理者名	株式会社 ソーリン	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設の設置目的	自転車等利用者の利便の増進を図り、交通の円滑化に資するため。		
事業概要	自転車駐車場の管理運営		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	112,553,425	117,628,793	206,006,885	436,189,103
収入内訳				
指定管理料	112,553,425	115,400,483	206,006,885	433,960,793
利用料金	0	0	0	0
その他	0	2,228,310	0	2,228,310
支出	109,089,139	120,302,010	183,639,331	413,030,480
収支差額	3,464,286	▲ 2,673,217	22,367,554	23,158,623

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	手数料については、一時利用における電子マネー決済手数料が、想定よりも高く129.2%となったが、概ね適正に執行された。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書に基づき業務が実施されていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	規則や仕様書に基づき運用されていた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	業務遂行に必要な従業員数は確保され、統括責任者を中心とした執行体制が明確になっていた。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	必要な防火管理者は確保されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は、各施設で鍵付きキャビネットに適正に保管されていた。また、定期的な月次報告や日常的な報告も適正にされていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	各施設とも、清潔に保たれていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	各種点検については、仕様書のとおり適切に実施されていた。	3	3

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	388,292	421,075	1,667,638	825,668
利用者満足度(%)	91%	95%	93%	93%

※利用件数は、利用台数集計表の合計。利用満足度は、利用者アンケート「管理人の接客・対応」の非常に良いと良いの人数÷アンケートの総数(全施設の上期・下期の平均)。

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	アンケート結果の「管理人の接客・対応」項目で高評価(9割)を得ている。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	アンケートで寄せられた要望等を反映し、場内マナーの注意喚起掲示をしている。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	モニタリング調査や現場確認時に、適切な対応がなされていたことを確認している。	3	3
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	現場を直接管理する統括責任者と副統括責任者の2名体制により、迅速かつ適切に対処されている。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	モニタリング調査時に個人情報等の書類が、鍵付きキャビネットで適切に保管されていることを確認している。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	毎月全管理員対象で研修を実施し、10月には集合型研修実施した。また、冬季は応急救命救急の研修を実施し、新人研修も現場で適宜実施している。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	モニタリング調査時に、思いやりスペースの確保・運営に努めて、適切に対応していることを確認した。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	3	アンケート結果を掲示している横に、持ち帰り用のアンケート結果を準備して利用者にフィードバックできるように改善を図っている。	—	—
施設の特性に応じた評価					

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関連提案の実施状況の評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
					有	有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	実施 有無	実施 有無
					有	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	令和5年度から新たな指定管理期間が開始されたが、事前に綿密な打合せを行ったことで、初日からスムーズに業務が引継がれた。また、突発的な問題には、統括・副統括責任者を中心に迅速に対応し、市への報告も滞りなく行われた。よって、総合的に市の要求水準を満たしていると判断する。	3	3
主管課長：建設環境部交通対策課 氏名：古谷 隆之				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	本年度は新型コロナウイルスが5類になったことで通勤・通学の利用者が徐々に増加しました。特に国分寺駅北口地下では一時利用の急増により出庫時の混雑や、機器設備等の摩耗速度の上昇によって様々な故障に見舞われましたが、全従事者が一体となって円滑かつ快適なサービスの提供に努めてまいりました。弊社はこれらの取り組みによって指定管理者として国分寺市の要求水準を低下することなく維持できたことから自己評価を「3」と評価しました。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	新たに管理をすることとなった国分寺駅北口地下自転車駐車場について、当初、人員が十分に集まらなかった状況にあって、本社社員で応援体制を組んだことは、現場任せにすることなく会社としてしっかりと対応していただいたと考える。また、多くの人が利用する自転車等駐車場という施設において、アンケートでも多くの意見が寄せられた。それに対しても目を通して改善していこうとしていた。時間帯によって交通系ICカードの利用が不可となる状況の改善も含め、令和6年度以降もより良い運営に努めていただきたい。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	障害者センター	所属名	福祉部 障害福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 万葉の里	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設の設置目的	障害者の自立と社会活動への参加を促進するため。		
事業概要	相談支援事業や自立訓練等多様な事業を通じ、障害者の自立と社会活動への参加を促進する。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	415,747,311	436,700,354	449,104,578	1,301,552,243
収入内訳	指定管理料	229,951,900	235,323,900	708,538,800
	利用料金	4,030,199	4,044,216	12,169,713
	その他	181,765,212	197,332,238	580,843,730
支出	422,423,482	423,577,534	460,053,400	1,306,054,416
収支差額	▲ 6,676,171	13,122,820	▲ 10,948,822	▲ 4,502,173

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	業務の履行について、収支計画に基づき適正に執行されている。収支差額赤字の要因は、過年度分消費税支払積立資産支出による。	3	3
業務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	4	新型コロナウイルス感染症の5類移行後、「ハイリスク施設に準ずる施設」に求められる対応を検討、業務での実践等、工夫が見られた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	協定書どおり守られている。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	業務に必要な従業員数が確保されている。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	管理運営に必要な有資格者を配置している。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は適正に管理され、必要な報告が遅滞無くなされている。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	委託事業者による清掃及び職員による日常清掃により、清潔の保持に努めている。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も状況に応じて消毒を実施し、感染症対策がなされている。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	法令上求められている点検を実施している。包括施設管理運用を見据え、点検結果等速やかな報告を求めた。	3	3

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	延べ利用者数:29,177人 利用率84%(一部)	延べ利用者数:27,560人 利用率79.6%(一部)	延べ利用者数:27,664人 利用率82.7%(一部)	延べ利用者数:28,134人 利用率82.1%(一部)
利用者満足度(%)	83.0%	82.6%	85.0%	83.5%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	「第三者評価」の受検、「利用者アンケート」を実施し、前年度、前々年度より満足度が増加、満足度は概ね高い水準を維持している。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	通所事業において、利用者会議、利用者自治会、家族会等意見交換を通じて事業を企画立案し、実施している。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	法人作成の育成マニュアルにより、社会人として求められることを示し、共有を図っている。また、必要に応じて個別に指導を行っている。	4	3
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	クレームが生じない事業運営に取り組み、寄せられた意見についても速やかな対応に努めている。	3	3
	個人情報が適切に取り扱われていたか	2	要配慮個人情報の漏洩が生じ、法に基づき個人情報保護委員会への報告を行った。個人情報の取り扱いを課長会議を中心に改めて見直し、現場職員へ周知、再発防止に努めている。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	人材育成や支援力の向上に取り組んでいる。とりわけ、利用者の高齢化・重度化への対応や医療的ケアが必要な方への受入れを目的とした研修等の積極的な受講が確認できた。	3	4
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づき、適切な運用が図られていることは勿論、人工呼吸器装着の方の単独通所に取組んでいる。緊急時シミュレーション等も行い、安全な通所に繋げている。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	3	モニタリングにおける指摘事項について事業ごとに共有を図り、次回モニタリングまでの間に改善、その都度報告を行っている。	3	3
施設水の準性の評価に値した	虐待防止の取組	4	前年度に引き続き「心理的安全性」をテーマに連続研修を実施し、虐待が起こらない職場環境の徹底を目指している姿勢が確認できた。	4	4
	人材育成の取組み	4	管理職と職員が面談を行い、話し合いを通して意欲向上につなげる取組が継続されている。また、高齢化・重度化への対応や医療的ケアが必要な方への対応強化に向けた取組みが確認できた。	3	—

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案選定時の状況評価にの	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	無	提案有無 実施有無	提案有無 実施有無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	無	提案有無 実施有無	提案有無 実施有無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	協定書及び事業計画書等に基づき適正な運営が行われている。利用者満足度や安心安全なサービス向上を目指し、障害者及びその家族へ丁寧な対応に努めるとともに、特に利用者の高齢化・重度化への対応や医療的ケアが必要な方の受入体制強化の取組（人材育成・人材配置）が確認できた。今後もこれらの特色を生かした市の中核施設としての役割を期待する。 主管課長：障害福祉課長 氏名：宮外 智美	3	3

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	条例、指定管理協定、事業計画、収支予算書に基づき適正に運営を行った。サービスを必要とする市民が安心して利用できるようサービス向上に努め、更なる利用者満足度の向上を目指している。その一つとして、利用者の高齢化・重度化や医療的ケアを必要とされる方の受け入れ体制の強化に取り組んだ。特に看護師が1名増員になったことにより、普段の支援体制の充実だけではなく、職員の育成に注力できた1年となった。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	新型コロナウイルス感染症が5類感染症とされた後も、その他の感染症対応も含めて組織として対応し、集団感染等を生じさせなかった。また、専門的な研修を実施して人材の育成を行うなど、重症度の高い方の受入れについて対応を継続していた。しかし、個人情報の取扱いにおいて誤りがあったことについては残念である。市の障害福祉サービスとして重要な施設であることから、基本的な部分を大切にしつつ、引き続き障害者が安心して利用できる施設として管理運営を担っていただきたい。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	国分寺市体育施設	所属名	市民生活部 スポーツ振興課
指定管理者名	日本管財・TAC共同事業体	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設の設置目的	スポーツ振興、市民の健康づくり、青少年の健全育成、競技力向上等のため。		
事業概要	施設や設備、物品等の維持管理及び安全に関すること。施設の使用承認や使用料の納入に関すること。スポーツ振興事業に関すること。		

単位:円

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入		207,474,239	209,528,729	257,546,141	674,549,109
収入内訳	指定管理料	163,210,176	164,219,162	209,965,000	537,394,338
	利用料金	32,519,200	40,712,950	43,241,141	116,473,291
	その他	11,744,863	4,596,617	4,340,000	20,681,480
支出		218,867,960	232,239,224	273,400,019	724,507,203
収支差額		▲ 11,393,721	▲ 22,710,495	▲ 15,853,878	▲ 49,958,094

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	概ね収支計画書に基づき適正に執行されていた。エネルギー価格の急激な高騰があったため、協定変更を行い支援したものの、収支の改善には至らなかった。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	4	協定書、仕様書等に基づき確実に実施されていた。オリンピック・パラリンピックレガシー創出事業をはじめ、様々なスポーツイベントを実施した。	4	4
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	4	条例・施行規則に基づき開館していた。また、市民室内プールでは夏期早朝営業を実施することで、利用者の施設利用の機会を増やした。	4	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	適切にシフトを組み、必要な人員が確保されていた。また、統括責任者を中心に、市民スポーツセンター・市民ひかりスポーツセンター・市民室内プールの各責任者が連携し、全職員への指示系統が明確になっていた。	4	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	仕様書に基づき有資格者を配置し、施設の管理運営を実施していた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は適正に管理され、また協定書・仕様書等に基づく書類提出は不備なく実施されていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	各施設の老朽化は進んでいるが、定期的に清掃を実施し、清潔さは保たれている。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	年間計画に基づき、法定点検は確実に実施された。	3	3

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	310,346人 20,840件 75.1%	407,206人 25,342件 72.9%	433,744人 25,582件 73.1%	383,765人 23,921件 73.6%
利用者満足度(%)	施設 73.1% 教室 84.8%	施設 62.8% 教室 82.7%	施設 72.9% 教室 82.4%	施設 69.6% 教室 83.3%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者の施設についての総合的な満足度はおおむね7割、また自主事業の教室についての総合的な満足度は8割を超えており、高水準となっている。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	利用者の声を、意見箱を設置して収集し、適宜施設運営に反映させていた。また、内容について主管課に迅速に共有し、サービスの向上に繋げていた。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	研修や始業前確認を実施し、礼節維持に努めている。職員の接遇等についての利用者からの苦情は、事実確認を行い、迅速に指導を行っている。	3	3
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	クレームがあった際は適切に対応しており、迅速に報告もされている。	3	4
	個人情報が適切に取り扱われていたか	3	施錠保管、細断破棄など個人情報の取扱いは適切に行われていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	体育施設運営において重要な危機管理研修や施設維持管理研修等をオンラインも含めて実施した。	4	4
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	筆談用具や車いす洗浄機の設置等、障害者等への合理的配慮を適切に行っている。また、必要に応じ簡単な介助等に応じることで、障害者と健常者が共に利用しやすい施設運営を心掛けていた。	4	4
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設水の準性の評価に値した	地域貢献の実施	4	毎月休館日に実施する施設周辺美化活動のクリーンウォークや、中学生による取材の受入れ等、地域貢献活動を実施した。	4	4
	地域ネットワーク活動	4	スポーツ推進委員スポーツイベントへの指導者派遣や、健康推進課の事業等への参加など、地域ネットワークの拡充を図った。	4	4
	スポーツイベント等の実施	4	パラスポーツも取り入れた様々なイベントを実施した。また、市が主催するイベントにも、積極的に協力した。	4	4

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提選 す施案定 る状況内容 評価の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案 有無 有 実施 有無	提案 有無 有 実施 有無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案 有無 有 実施 有無	提案 有無 有 実施 有無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	施設管理面では適切に点検や検査を実施し、利用者が安全にスポーツを実施できる環境を維持管理できていた。施設の利用者数及び利用件数は、前年度・前々年度と比較して増加傾向にあり、また、自主事業としてスポーツイベントや教室を定期的実施することで、大いに市のスポーツ振興に繋がっている。窓口等での利用者への対応も適切・丁寧に行われており、また、地域貢献活動も積極的に行っていることも評価をしたい。以上のことから、施設維持管理及び運営両面において、市の要求水準を上回っていると評価する。	4	4
主管課長：市民生活部スポーツ振興課長 氏名：岡田 周作				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	施設管理面での点検・検査等は履行できた。運営面では自主事業でコロナ前の利用状況には戻らず収入面では大幅な減であった。また、エネルギー情勢の急激な変化で大幅な支出増となった。地域活動やスポーツイベントは可能な範囲で実施した。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	協定書において定められた事業の他にも多くの自主事業を実施し、スポーツの振興、市民の健康づくり等に貢献した。設備の面においては、老朽化による不具合等が発生しているが、迅速に対応し利用者の満足度を下げることがないよう努力をいただいていた。令和5年度から新たな指定管理期間となった。これまでの経験、実績等を生かして、魅力ある体育施設運営を担っていただきたい。	4	4

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	いきいきセンター	所属名	健康部 健康推進課
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日
施設の設置目的	高齢者等(40歳以上)の健康保持及び増進を図るため。		
事業概要	高齢者等(40歳以上)の健康保持及び増進を目的に健康づくりの場を提供する。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	8,076,000	8,349,431	8,326,000	24,751,431
収入内訳				
指定管理料	8,076,000	8,226,000	8326000	24628000
利用料金	0	0	0	0
その他	0	123,431	0	123431
支出	8,032,077	8,328,845	8,139,557	24,500,479
収支差額	43,923	20,586	186,443	250,952

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画書通りに執行された。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定・企画提案書通りに実施され、適正に管理を実施した。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	開館予定日数・開館時間共に守られた。 LED交換修繕に伴い、9月25日～9月27日は休館した。(一部スタッフは鍵の開閉等で出勤)	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	従業員数が適正に確保され、執行体制が明確になっていた。また、予約システムによる抽選確定日には、人員を強化して配置していた。	4	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	指定管理者の担当者が防火管理者も担っており、事業計画書の人員配置計画通りの人員として確保されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	4	書類は適正に保管され、事業計画書、事業報告書等も、迅速に提出がされていた。また、アンケート報告では、概要版も作成し、分かりやすくまとめられていた。	4	4
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	清掃回数を仕様書上の週2回から週3回に増やし、施設全体が清潔に保たれている。利用者アンケートの結果より、「ホール、トイレ」は満足度が8割以上保たれており、市の要求水準を上回っている。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	指定管理者による日常点検を全開館日実施。また、建物所有者である東京都住宅供給公社による消防設備点検は、2回実施。(9、3月)	3	3

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	11,389人(延べ人数) 984件 81.5%	12,573人(延べ人数) 1,117件 80.0%	11,353人(延べ人数) 1,063件 74.4%	11,772人(延べ人数) 1,063件 78.6%
利用者満足度(%)	88%	94%	89%	90%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	回答者の89%が満足(「満足」「どちらかといえば満足」の回答者の合計)と回答し、高い評価を得ている。また、施設予約システムが導入し1年が経過するが、不安な声もあったが、丁寧に対応しトラブルになることもなかった。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	アンケートを確認し、当日の施設の使用等、杓子定規になりすぎないように、認識を共有した。また、サービス向上等を目的とした研修を3回実施し、業務に生かしている。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートの結果では、窓口対応の5項目において9割以上が満足と答えており、昨年同様に高い評価となっている。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	令和5年度は、クレームは発生していない。クレームが発生した場合にも、苦情対応の研修等を行っており、またマニュアルも現場に配置しており、適切に対処できる環境が整っている。	3	3
	個人情報が適切に取り扱われていたか	3	市の個人情報の取扱いに準じて、指定管理者が定めた個人情報保護策に基づいて対応しており、個人情報については、適切に取り扱われている。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	認知症、障がい者対応研修、消防防災訓練等、必要な研修が実施された。消防防災訓練では、自衛消防訓練の内避難誘導について身につけているかを再度確認を行った。また、今年度はAEDを設置したため、追加で研修を行った。	4	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」等に基づいたマニュアルを作成し、合理的配慮を意識して対応している。また、これに関する研修も実施している。	4	4
	業務の改善が図られていたか(※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	4	より幅広い年齢層の活用を促すため、40代～60代向けの自主事業を実施し、参加者も増加してきている。新たな広報場所への導入も行い、利用者の方の地域の偏りを少なくする努力をしている。	4	4
施設の特性に応じた水準の評価					

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案選定時の状況内容の評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	利用者アンケートにおいて、利用者の満足度は89%となっており、施設利用率も高水準を維持している。また、清掃員の雇用形態の変更時にも迅速に対応し、施設を清潔に保つ努力をしていたことは評価できる。利用者層の拡大に向けた取組として、40代～60代向けの自主事業を行い、参加者も増加している。来年度も、より幅広い利用者層獲得に向けて、また地域の偏りを少なくするために更なる努力に期待したい。	4	4
主管課長：健康部健康推進課 氏名：占部 英一				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	令和5年度は、前年度2月から導入された公共施設予約システムの本格稼働となりましたが、予約に不慣れな利用団体が想定されることから月初と抽選予約初日は人員を増やし丁寧に対応し、通常の運営に支障をきたすことがないよう努めました。自主事業の講座につきましては40代・50代の取り込みに加え、広域からの参加者も取り込むべく広報の配布等工夫して取組みましたが、近隣5エリア以外からは49名中14名(28.6%)参加していただき一定の成果を得ることができました。施設アンケートでは、90%以上の利用者に、満足・どちらかという満足と評価していただきました。	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	以前から行っている40歳代・50歳代の参加者を増やす取組について、本年度においても広報に力を入れるなど、引き続き実施していただいた。接遇において、アンケート結果で満足度が高く、令和4年度に導入した公共施設予約システムについての対応も丁寧に行い、トラブルとなるようなことは無かった。小さな施設ではあるが、健康保持及び増進を図るために利用者が安心し、心地よく利用できるよう、日常的な管理を引き続き丁寧に行っていただきたい。	4	4

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	福祉センター、生きがいセンターとくら	所属名	健康部 地域共生推進課 福祉部 高齢福祉課
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設の設置目的	福祉センター :市民の福祉活動を推進し、地域社会の福祉増進を図るため。 生きがいセンターとくら:高齢者が健康で生きがいを持って生活することができるよう、相互の交流を促進し、新進の維持、向上を図るため。		
事業概要	民間事業者たる指定管理者の能力を活用しつつ本施設の利用者の利便を向上させ、市民の福祉活動及び高齢者福祉を推進し、地域福祉の一層の増進を図ることを目的とし、指定管理者による施設の管理運営を実施する。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	32,759,762	35,019,590	38,464,782	106,244,134
収入内訳				
指定管理料	32,759,748	33,093,822	36,783,936	102,637,506
利用料金	0	0	0	0
その他	14	1,925,768	1,680,846	3,606,628
支出	34,594,400	37,546,974	36,212,460	108,353,834
収支差額	▲ 1,834,638	▲ 2,527,384	2,252,322	▲ 2,109,700

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき、予算執行を適正に実施している。電気料金の高騰に対してもしているが、節電の努力を行っていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定等に基づき、適切に業務が実施されていることを確認した。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	条例に基づく開館日、開館時間は遵守されていることを確認した。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	業務遂行に必要な職員が確保され、執行体制が明確であった。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	施設管理者が防火管理者であり、運営に必要な有資格者が確保されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は施錠可能な棚に格納するなど適正に管理されていることを確認した。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	アンケートの結果において、現場職員及び業者による毎日の清掃により、清潔に保たれていると評価されている。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	計画のとおり実施されていることを確認した。また、報告等は地域共生推進課に速やかになされている。	3	3

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	【福祉センター】 利用者数:21,913人 利用件数:2,154件 利用率:39.5%(※) ※コロナ禍等で貸出しされなかった料理実習室を除くと利用率は46.2%	【福祉センター】 利用者数:36,706人 利用件数:2,983件 利用率:48.3%	【福祉センター】 利用者数:41,433人 利用件数:2,964件 利用率:47.8%	【福祉センター】 利用者数:33,351人 利用件数:2,700件 利用率:45.2%
	【生きがいセンター】 利用者数計:4,577人 (内訳) 個人利用者数:1,515人 団体等利用者数:3,062人 利用率:27.6%	【生きがいセンター】 利用者数計:7,042人 (内訳) 個人利用者数:2,592人 団体等利用者数:4,450人 利用率27.7%	【生きがいセンター】 利用者数計:7,607人 (内訳) 個人利用者数:2,385人 団体等利用者数:5,222人 利用率30.1%	【生きがいセンター】 利用者数計:6,409人 (内訳) 個人利用者数:2,164人 団体等利用者数:4,245人 利用率:28.5%
利用者満足度(%)	【福祉センター・生きがいセンター共通】94.7% とても満足31・満足149 不満10・とても不満0	【福祉センター・生きがいセンター共通】91% とても満足39・満足183 不満19・とても不満0 その他3	【福祉センター・生きがいセンター共通】93.4% とても満足42・満足186 不満7・とても不満3 その他6	【福祉センター・生きがいセンター共通】93%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	アンケートにて、「とても満足」、「満足」と答えた利用者が合計で93.4%であり、満足度は高かった。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	駐輪場の案内板を増設したり、イベント時に案内表示をするなど、サービスの向上に努めている。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	12月実施のアンケートによると、職員のマナー等の満足度は、とても満足、満足の回答が合計で98.8%となっており、適切であると判断する。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	4	職員間で情報共有し、適切な対応を心掛けている	4	4
	個人情報が適切に取り扱われていたか	3	帰宅する際は、鍵のかかるキャビネットに資料は収納し、パソコンをロッカーに収納するなど、適切な取扱いをしていることを確認した。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	事業計画書のとおり実施していることを確認した。	4	4
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	筆談マークを受付に掲示するなど適切に対応を行っていることを確認した。	4	4
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の準特性に 評価した	関係機関との連携ができているか	3	近隣の機関と連携が取れており、特に、十小とは情報提供等、連携が取れている。	3	3
	地域、多世代にわたる交流ができているか	4	みんなの食堂等、近隣の子供から高齢者まで多数の人が集うイベントを実施するなど交流が図れている。	4	4
	運営の中で工夫がされているか	4	案内などの掲示物を常に最新のものに張替えるなど、見やすい工夫をするなどしている。	4	4
	高齢者の健康づくりを目的とした自主事業を地域特性、施設の特徴及び利用者の声などをもとに企画し実施しているか	4	地域及び施設の特性を生かし、ハロウィンやクリスマスなどのイベントを通して近隣の子供から高齢者まで交流する機会を企画し実施した。	4	4

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度		前々年度	
関実提案 選定時の 状況内容 評価の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	無	提案 有無	無	提案 有無	無
					実施 有無	無	実施 有無	無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	有	提案 有無	有
					実施 有無	有	実施 有無	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	【福祉センター（地域共生推進課）】 令和5年度の利用件数は、令和4年度と同水準だったが、利用者数は大幅に増加しており、自粛していた大人数での活動が増加している。 令和5年度は4年ぶりに「みんなの食堂」を開催し、小さな子どもから高齢者まで多数の方が参加していただいた。近隣の第十小学校とも連絡を密にし、お互い協力できる関係性を構築できており、多世代交流を促進することができている。 さらに、イベントごとや福祉センターからのお知らせをいち早く利用者に周知するため、掲示板を増設し、施設からのお知らせを掲示するなど、利用者目線にたった運営がなされている。 また、毎週金曜日に実施している「とくらカフェ」についても、近隣に飲食店等がない立地であることから利用者に大変好評であり、注文のあった商品を各部屋に配達するなど常に利用者が使用しやすい工夫をしている。 建物も古く、様々な対応が求められるが、その都度迅速に市へ報告を行うとともに、必要に応じた応急処置等の対応が行われており、適切に施設の維持管理に取り組まれている。 【生きがいセンターとくら（高齢福祉課）】 令和5年2月から開始した公共施設予約システムにおいては、利用者がスムーズに予約できるように丁寧な説明と案内を実施していた。また、コロナ禍の影響で各生きがいセンターで分散して実施していた地域生きがい交流事業の発表会・交流会を、市内生きがいセンター6施設合同で開催した。館全体の「福祉センターまつり」も復活し、近隣の市民や団体と積極的に連携・交流を図っていた。	4	4
		主管課長：地域共生推進課 氏名：小峯 基弘 主管課長：高齢福祉課 氏名：澤田 元織		

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	指定管理者2期5年目（最終年度）となった今年度は、感染防止策の制限緩和以降、生きがい交流事業の講座および自主事業での講座を全て計画通り実施している。第十小学校をはじめ近隣諸施設との連携等が奏功し、各企画・イベント等も実施することができ、とりわけ4年ぶりの「福祉センターまつり」の成功裏での復活が象徴する行事となっている。1階ロビーを活用した展示発表会を実施し、当事者や入館者に喜んでいただき地域交流の一助となっている。また、みんなの食堂においては子どもから高齢者まで参加していただき多世代交流を促進するきっかけとなっている。令和5年4月から本格稼働した公共施設予約システムについては、システム予約に不慣れな利用者に丁寧に対応し定着が図られている。	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	福祉センターのイベントにおいても、生きがいセンターのイベントにおいても、近隣の第十小学校との連携を大切に、多世代交流を実現させていた。施設面においては老朽化をしているが、清掃、整理整頓等の実施により利用者に心地よく使ってもらおう努力をしていた。アンケートにおいては、センターに行こうという気持ちにさせてくれるといった声もあり、努力の結果が表れていた。 引き続き、施設の設置目的が達成されるよう、管理運営を行っていただきたい。	4	4

指定管理者評価票(評価対象年度: 令和5年度)

施設名	国分寺市介護老人保健施設すこやか及び国分寺市高齢者在宅サービスセンターふれあい	所属名	福祉部 高齢福祉課
指定管理者名	一般財団法人国分寺市健康福祉サービス協会	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設の設置目的	利用者である市民の心身機能の維持及び家族の介護負担の軽減		
事業概要	介護老人保健施設すこやか・高齢者在宅サービスセンターふれあいの事業運営及び施設・設備の維持管理を行う。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	361,232,385	387,646,900	386,409,540	1,135,288,825
収入内訳	指定管理料	0	0	0
	利用料金	330,583,493	346,555,650	1,033,553,281
	その他	30,648,892	41,091,250	101,735,544
支出	368,675,957	395,875,476	412,681,985	1,177,233,418
収支差額	▲ 7,443,572	▲ 8,228,576	▲ 26,272,445	▲ 41,944,593

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき適正に執行されていた。収支は赤字となったが、市が負担する指定管理費は無く、「市の要求水準を満たしている」と判断した。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書及び仕様書に基づき業務が実施され、各サービスが適切に提供されていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	施設運営規程に基づき、仕様書のとおりに運営が行われていた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	勤務割表により勤務体制が明確化されていた。人材確保が困難な中においても、サービスの質の向上のため、法令で定められた基準を上回る人員を配置している。	4	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者のほか、医師、看護師、介護福祉士等を配置している。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は適正に保管され、必要な報告が行われていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	日曜・祝日等を除き、委託業者が毎日清掃を行っており、施設内は清潔に保たれている。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	消防設備等法定点検のほか、各種設備点検も確実に実施されていた。	3	3

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 老健入所 (人)	15,465	15,882	15,805	15,717
利用者数 短期入所 (人)	1,240	1,407	1,224	1,290
利用者数 通所リハ (人)	3,321	5,350	6,290	4,987
利用者数 通所介護 (人)	4,138	2,573	2,239	2,983
利用者満足度 (%)	92.0%	91.0%	92.0%	91.7%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者満足度が92.0%であり、前年度に引き続き90%を超え高い評価を得ている。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	施設内の3か所に意見箱を設置し、利用者や家族の要望の把握に努めている。令和5年度は意見が無かった。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	利用者アンケート結果より、職員の身だしなみ・言葉遣い・対応について「悪い」の回答が無く、適切であると判断した。	3	3
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	令和5年度は苦情の報告が無かった。	3	3
	個人情報が適切に取り扱われていたか	3	個人情報保護に関する規程があり、規程に基づき適切に取り扱われていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	年間研修計画に基づき、職種別に研修を実施していた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	法律に基づき適切に対応している。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の水準に応じた評価	新規利用者獲得のための取り組みがされているか	3	市内の事業所等への営業活動や、ホームページの刷新等、情報発信の取組が行われた。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関連する状況の評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	無	提案有無 実施有無	提案有無 実施有無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	無	提案有無 実施有無	提案有無 実施有無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	介護保険法に基づき適切な施設運営がなされ、利用者の心身機能の維持回復及び家族の介護負担の軽減に寄与している。利用者満足度も高い割合を保ち、施設に求められる機能や役割を果たしていることから、指定管理者として市の要求水準を満たしていると評価した。 令和6年度から令和8年度を計画期間とする第9期介護保険事業計画の施設等整備計画において「公設民営の介護保険事業所の機能の見直し等について、市と運営法人で協議を行いながら、市民ニーズに応える取組を継続していく」ことを位置付けており、より効率的な事業運営に向けて検討を進める。	3	3
主管課長：高齡福祉課長			氏名：澤田 元織	

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	指定管理者協定書、市各種条例及び規則、介護保険法等の規程等をすべて遵守し、入所者が安全及び快適に過ごせるよう、全職員が自己研鑽を積み努力している。年度末には業務継続計画(BCP)を作成し、自然災害時・感染症発生時に適切に対応できるよう職員周知を図っている。新型コロナウイルス感染も発生したが、協力病院等との連携により対応が図られた。年間平均稼働率は入所施設93%、通所リハ72%であった。 指定管理者協定書、市各種条例及び規則等の規程等をすべて遵守し、利用者が安全かつ快適に過ごせるよう、全職員が自己研鑽を積み努力している。小規模な施設で入浴や食事、人との交流といったニーズもあり、利用者が在宅での生活を快適に維持でき、かつ家族の心身負担を軽減できるよう在宅介護を支援している。年度末には業務継続計画(BCP)を作成し、自然災害時・感染症発生時に適切に対応できるよう職員周知を図っている。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	経営の改善について努力をしていると推察するが、本年度の収支差額がマイナス2,600万円を超えていることについては、指定管理者の法人運営を心配するところである。このような状況下でありながらも、利用者へのサービスを適切に提供し、利用者満足度は3年連続で90%を超えており、この点について評価する。 施設としての制約からも、経営的に厳しい状況がうかがえるが、主管課と協議、調整等を行いながら、利用者への介護保険サービスの提供を行っていただきたい。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	国分寺市生きがいセンターさわやか	所属名	福祉部 高齢福祉課
指定管理者名	特定非営利活動法人 あおぞら	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設の設置目的	高齢者が健康で、生きがいを持って生活することができるよう、相互の交流を促進し、心身の維持、向上を図るため。		
事業概要	60歳以上の市民の教養向上・レクリエーション等随時利用できる場所の提供・市民の心身の健康増進に関すること。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	24,490,399	25,400,914	25,922,043	75,813,356
収入内訳				
指定管理料	23,812,962	23,812,962	24,351,000	71,976,924
利用料金	0	0	0	0
その他	677,437	1,587,952	1,571,043	3,836,432
支出	24,215,879	25,007,385	25,096,467	74,319,731
収支差額	274,520	393,529	825,576	1,493,625

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき、適正に執行されている。	3	3
業務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	4	指定管理業務仕様書のとおり業務が実施されている。事業計画書に記載の会員の増強と利用者の拡大についても、広報活動を強化し、一定の効果をあげられている。	4	4
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	仕様書のとおり守られている。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	清掃スタッフの確保に苦心したものの、指定管理業務仕様書に基づき、適切な人員配置をしている。月毎の勤務割表を作成し、体制を管理している。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	確保されている。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	休館期間を利用し、書類の整理を行い、適正に保管されている。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	清潔に保たれ、利用者の評価も良い。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	4	指定管理業務仕様書及び事業計画書に基づき、確実に実施されている。	4	4

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 (人)	17,763	26,202	19,263	21,076
利用者満足度(%)	98%	98%	98%	98%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートの評価が高く、特に実施事業については、回数を増やしてほしいなどの要望が多くあげられている。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	新たに「ご意見箱」を設置し、回答を掲示すると共に、ご要望に応えたイベントなども行っている。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	丁寧な対応をしており、利用者アンケートでの評価も高い。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	常に丁寧な対応を心掛けており、クレームは発生しなかった。	3	3
	個人情報が適切に取り扱われていたか	3	個人情報保護法及び国分寺市個人情報安全管理措置基準に準拠し、適切な取扱いを行っていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	救命講習や必要な外部研修を受講している。デジタル化や個人情報管理については、理事を中心に受講している。	4	4
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	配慮の必要な来館者が多い中、柔軟な対応を行っている。	4	4
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
水準に 施設の 特性 に応じた 評価	後継人材の育成の進捗について	3	業務のマニュアル化を進めるとともに、幹部への研修を行っている。また、利用者を増やすことで、新たな人材の確保を目指し、更なる広報活動の強化等を検討している。	3	—

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提選 実案定 施案時 する内 状況容 評価の 価にの	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	無	提案 有無	無
					実施 有無	無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	有
					実施 有無	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	令和5年度は、施設修繕による休館があり、利用者数の増など、思うように進められない状況であったが、新たに「ご意見箱」を設置するなど、利用者の声を広く集め、運営に反映するなど、積極的な取り組みを行っている。 丁寧かつ親切な対応が利用者アンケートからも高い満足度・感謝の声として多くあげられており、評価する。 次期幹部への研修を本格的に開始しており、同時に新規利用者の拡大及び新たな人材の確保についても、市と共に検討を進めている。	4	4
主管課長：高齡福祉課 氏名：澤田 元織				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	平成18年開設以来、本施設を適正かつ円滑に管理・運営し、ご利用者の健康の維持増進と介護予防事業を推進し、高齡者福祉はもちろん地域福祉全体に貢献しています。	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	コロナ禍により実施できていなかった、健康吹矢、さわやか夏まつりを本年度に再開した。利用者の声に耳を傾け運営に取り入れることで、利用者満足度も高かった。自主事業の喫茶・軽食事業について、コロナ禍が明け、交流の場としての役割を果たすことと思われる。地域に根差した施設として、これまでどおり満足度が高い施設の運営を行っていただきたい。	4	4

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	しんまち児童館、第一・第二新町学童保育所及び戸倉学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	株式会社 こどもの森	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	85,088,984	87,059,846	87,552,377	259,701,207
収入内訳	指定管理料	84,970,119	86,088,882	257,668,406
	利用料金	0	0	0
	その他	118,865	970,964	2,032,801
支出	80,489,004	86,195,374	86,574,445	253,258,823
収支差額	4,599,980	864,472	977,932	6,442,384

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適 支 確 計 性 画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書に基づき業務が実施されていた。ファイヤー企画を再開し、たき火での料理を実施した。毎日の朝礼・昼礼にて情報共有も適切に行っていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	条例に基づく開館日、開館時間は遵守されていた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	職員の体調不良者が重なりやむを得なかった1日を除き、協定書上の必要な職員・支援員等を配置し、日々の運営も基準を満たした職員配置がされていた。	3	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者を確保し、施設内に掲示していた。放課後児童支援員及び、認定研修受講資格を持つ者が配置されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	2	書類は施錠できる書棚に保管するなど、適正な管理をされており、事務室内は書類が整理整頓されていた。学童保育所での怪我等現場からの報告は迅速だったが、事業報告書等必要書類の提出が期日を守られないことがあり、改善が必要である。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	日常業務の中で職員による清掃が行われ、施設が清潔に保たれていた。子どもたちがお手伝いスタッフとなり、毎日自発的に床掃除・消毒等を行う仕組みを作っていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	保守点検業務委託等の計画に基づき、各種点検等の実施されていた。	3	3

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	しんまち児童館 18,097人	しんまち児童館 26,124人	しんまち児童館 29,536人	しんまち児童館 24,586人
	第一新町学童 46.4%	第一新町学童 58.8%	第一新町学童 63.9%	第一新町学童 56.4%
	第二新町学童 42.0%	第二新町学童 50.9%	第二新町学童 58.3%	第二新町学童 50.4%
	戸倉学童 65.5%	戸倉学童 95.8%	戸倉学童 93.9%	戸倉学童 85.1%
	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)
利用者満足度(%)	しんまち児童館 83.0%	しんまち児童館 88.0%	しんまち児童館 84.0%	しんまち児童館 85.0%
	第一・第二新町学童 96.2%	第一・第二新町学童 88.1%	第一・第二新町学童 94.4%	第一・第二新町学童 92.9%
	戸倉学童 95.3%	戸倉学童 89.4%	戸倉学童 94.5%	戸倉学童 93.1%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートを10月に実施。全体に対しての満足度において、91%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、特に学童保育所については前年度よりも高い水準となっていた。	3	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	児童館では利用者懇談会の回数を増やし、しんまちの木という子どもたちの要望とその結果を掲示する取り組みを実施し、利用者の声を引き出す工夫をしていた。学童でも要望を受け配食サービスの残食処理方法を見直すなど柔軟な対応をしていた。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートの職員に対しての満足度において、92.4%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、引き続き高い水準を維持している。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	第一・第二新町学童で1件苦情があったが、速やかに改善対策を検討し現在は適切に対応していた。個人面談月間を設定し、保護者と直接話せる関係づくりを行っていた。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報記載された書類については施錠できる書棚に保管し適切に管理し、利用者の情報はインターネットにつながっていないパソコンを使用、パソコンのワイヤーロック等の対策も講じられていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	従事者育成に係る研修計画に基づいた各種研修の実施がなされていることを確認した。館長による施設内勉強会も実施し研鑽を積んでいた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	市が実施した障害児研修や障害児報告会、担当者会議に積極的に参加していた。児童の個人の特性に応じた柔軟な対応をしていた。	3	4
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		3	—
施設の特性に 評価に応じた	自然災害等への対応	3	当初の計画通り、学童保育所は隔月、児童館は9月以降毎月避難訓練を実施していた。	3	4
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	3	児童館では、十小放課後プランとの合同イベントや六小昔遊び、並木公民館の子どもまつり、親子ひろばキャラバン等、地域との交流を行った。教育実習生等の受入れも実施した。戸倉学童では、家庭科室を借用した分散保育を継続して実施していた。	3	3
	配慮を要する児童への対応について	3	学童では、加配児には障害児入所協議会で決定した適切な加配職員を配置し、児童の特性に合わせて子ども同士のサポートや個別の対応を実施。アレルギー児については、お皿なども分け適切に対応していることを確認した。	3	4

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案選 定時の 状況 内容 評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	児童館については、乳幼児親子に向けた寝相アートの実施や、しんまちカフェを再開し保護者の交流の場になったり、しんまちの木という子どもたちの要望を掲示し結果が分かるような取り組みを行い、利用者のニーズを捉えた施設運営がなされていた。また、教育実習生等の受入れや地域のおまつりに児童館コーナを出店するなど、地域や学校等との連携を意識した取組も継続して実施されていた。 学童保育所については、児童館のスペースの活用や学校の協力を得て学校施設を借用して分散保育を行い、毎日の職員ミーティング等で障害児やアレルギー児の対応について情報共有等を行いながら、安心・安全な保育が実施されていた。また、自主事業として、引き続き昼食の配食サービス実施し、利用者のニーズに応えていた。 今後も、学校及び地域等とのつながりや利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用者のニーズを捉えた様々な行事等を実施するとともに、安心・安全な施設の管理運営に努められることを期待したい。	3	3
主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	昨年度よりも、児童館来館者数が3000人以上増加し、アンケート結果等においても良い結果を出すことが出来た。また、学童保育所の利用人数が増加する中でも、上手くスペースを活用したり、空き教室を借りたりすることで利用児童・保護者のストレスを緩和することができた。 昨年度から引き続き実施した個人面談や長期休暇時の配食サービスにより、利用者の要望にもこたえることができた。 児童館は新型コロナウイルスの影響で中止になったイベントもあったが、昨年度より開始し、好評だった寝相アートは今年度は回数を増やし利用者に喜んでいただけた、並木公民館・図書館との共催行事である子どもまつりには約1100人の児童・保護者・地域の方々が参加してくれた。 来年度、様々なイベントが開催出来るようになれば、さらなる来館者増、満足度向上につなげていけると感じる。	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	子どもたちの要望を聴き、保護者とも面談を実施するなど、サービスの向上や関係構築のための取組を行っていた。また、学校の協力を得て学校の施設を使用し、保育環境が密になり過ぎないようにする取組も行っていた。一方、報告書の提出等が遅れていたことについては、残念である。 利用者のニーズを捉え、子どもたちにとっても保護者にとっても、安心して過ごすことのできる児童館・学童保育所の管理運営を行っていただきたい。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	もとまち児童館、第一・第二東元町学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズ・センター事業団	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	59,291,380	61,172,608	63,747,823	184,211,811
収入内訳	指定管理料	59,291,380	60,273,433	182,348,705
	利用料金	0	0	0
	その他	0	899,175	1,863,106
支出	59,242,108	61,172,608	63,075,764	183,490,480
収支差額	49,272	0	672,059	721,331

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	児童館の乳幼児向け行事が増え、土曜日も4人体制となっており少し人件費の増は見られるが、収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書、仕様書を再確認し実施すべき業務を遺漏なく実施している。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	4	市の条例等に基づいた開館・開所日数及び開館・開所時間を遵守している。学童保育所においては、登所児童の把握ミスを防ぐため、ホワイトボード等で複数確認の工夫を確認した。	4	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	1回目のモニタリングから引き続き、児童館・学童ともに、市の条例等に基づき、適正な職員配置を行っている。	4	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者を確保しており、施設内に掲示している。学童は、放課後児童支援員を必要数確保している。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は、鍵のかかるキャビネットに保管している。協定書・仕様書に基づき必要な報告は、遅れることなく報告している。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	前回から引き続き、児童館・学童ともに遊具や児童ロッカー等の消毒を行っている。各部屋の床・水回り・トイレ・空調機フィルター等こまめな清掃を行っており、施設を清潔に保っている。また、施設周りの掃き掃除・草むしり・植込みの手入れ等施設全体の整備を徹底し、近隣住民へ配慮している。	4	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	予定されていた点検等は遅滞なく実施されていた。	3	3

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数	もとまち児童館 14,209人	もとまち児童館 18,331人	もとまち児童館 22,214人	もとまち児童館 18,251人
利用件数	第一東元町学童 97.2%	第一東元町学童 116.3%	第一東元町学童 141.1%	第一東元町学童 118.2%
利用率	第二東元町学童 37.6%	第二東元町学童 27.8%	第二東元町学童 39.6%	第二東元町学童 35.0%
	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)
利用者満足度(%)	もとまち児童館 98.0%	もとまち児童館 96.0%	もとまち児童館 92.0%	もとまち児童館 95.3%
	第一・第二東元町学童 97.4%	第一・第二東元町学童 94.3%	第一・第二東元町学童 97.4%	第一・第二東元町学童 96.4%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートを10月に実施。全体に対しての満足度において、94.7%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、引き続き高い水準を維持している。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	児童館では、誰でも自由に書ける「じどうかんノート」から要望を聞き取り活動へ生かしており、普段の活動の中でも児童の意見を積極的に取り入れている。学童では、実際に遊びと学習の時間への要望があり一日の保育の流れの見直しを図った。	4	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートの職員に対しての満足度において、96.5%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、引き続きとても高い水準を維持している。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	苦情の発生はなかった。児童館では、怪我発生時、速やかに保護者に連絡対応を行っており、職員間の情報共有とともに、見守りのタイミングや職員配置の明確化などを再確認していた。学童では、保護者から子ども同士のトラブルの相談があった場合には、すぐに職員間で情報共有し、双方の子どもから話を聞くなど早急に対応し保護者へお知らせしていた。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	書類はファイリングし施設の上整然と書庫へ格納しており、データは適正に保存していた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	危機管理、安全衛生推進者、リーダー研修等団体による研修の他、市主催の応急救護、エビデンアレルギー、レクリエーション研修等支援力向上への意識をもって受講している。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	児童館には障害のある方が大人の引率のもと訪れる機会がある中で、互いの特性を認め合い、自然な関わり合いができるよう言葉掛けを職員が積極的に行っている。学童では、一人一人必要に応じてできる限りの対応を行い、全員が同じように参加できる内容にするなど工夫を行っている。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の特性に 評価に応じた	自然災害等への対応	4	避難訓練については計画通り実施していた。児童館では、訓練の時間帯に来館していた全ての保護者や子どもたちが参加する訓練を行っていた。職員のための訓練も定期的に行い、いざという時に速やかに子どもたちを誘導できるよう設備の確認やシミュレーションも行っていた。学童では、3.11の被災経験をともに子どもたちに語り伝えていた。		
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	4	児童館では、地域の農園の畑で収穫体験や、地域の人材を生かしたマジックショーの開催等地域交流を深めていた。地域柄、もとまち公民館・図書館、地域センター、さわやかプラザもとまちとの連携では地域会議をとおして情報共有を深め、地域のネットワークを構築していた。学童ではキッズプログラミングワークショップを開催する等、地域交流を深めていた。		
	配慮を要する児童への対応について	4	児童館では、年間をとおして学校への行き渋り等児童対応があるが、安心な居場所となるよう寄り添った対応をしていた。学童では、アレルギーのある児童の、誤食がないようチェックシートによる確認体制をとっていた。運動による誘発性アナフィラキシー防止のため食休みの徹底も引き続きしていた。		

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案選定時の 状況内容の 評価にの	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案 有無 実施 有無	提案 有無 実施 有無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案 有無 実施 有無	提案 有無 実施 有無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	児童館については、利用者の方々が参加した会議や誰でも自由に書ける「じどうかんノート」から出された意見・要望等を踏まえ、乳幼児親子や小学生以上を対象とした各種行事を企画実施するとともに、地域農園での収穫体験や地域で活躍する人材を招いたマジックショー開催等の行事も実施され、地域と連携した取組が展開されていた。また、昨年度に引続き好評であった中高生が事前の準備も含めて運営スタッフとして参加した「夜の児童館探検」を実施し児童同士が仲間意識を高める場を保障していた。 学童保育所については、狭あい状況の中、学校の協力を得て学校施設を借用して分散保育を行いつつ、毎日の職員ミーティング等で障害児やアレルギー児の対応について情報共有等を行いながら、安心・安全な保育が実施されていた。また学年ごとに「ふれあいカフェ」を開催し、普段子どもたちが遊んでいる様子が伝わり、より安心していただけた。 今後も、学校及び地域等とのつながりや利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用者のニーズを捉えた様々な行事等を実施するとともに、安心・安全な施設の管理運営に努められることを期待したい。	3	3
主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	児童館・学童ともに、利用者の安心・安全を保てるような活動を行ってきた。 児童館利用が多世代利用が増えていくなか、職員間で利用者の意見や要望に沿って、出来る範囲で取り組むことが出来た。 学童でも、利用者や地域、各種関係機関と連携を取りながら児童一人一人への丁寧な対応に繋げてきた。	3	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	中高生がスタッフとして参加する夜の児童館探検を実施したり、開館時間を午後8時まで延長したりするなど、中高生の居場所づくりの取組を実施していた。また、近隣の方を講師に招き、子どもと保護者が参加できる体験教室を実施するなど、地域との連携も図っていた。苦情は無く丁寧な施設運営が見て取れる。引き続き、子どもや保護者の声を聴きつつ、丁寧な施設の管理運営に努めていただきたい。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、第一日吉町学童保育所及び西恋ヶ窪学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズ・センター事業団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	89,657,176	91,754,402	92,105,397	273,516,975
収入内訳				
指定管理料	89,657,176	90,484,240	89,881,256	270,022,672
利用料金	0	0	0	0
その他	0	1,270,162	2,224,141	3,494,303
支出	89,594,932	91,697,770	92,424,904	273,717,606
収支差額	62,244	56,632	▲ 319,507	▲ 200,631

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
収支の適正性	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	狭隘状況への対応として分散保育を実施している施設について人件費の執行を確認しながら、収支計画に基づき運営していた。	3	3
業務の履行状況の評価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	概ね順調に実施されている。近隣の福祉施設との地域交流行事を再開した学童は、先方との調整を図り実施することができ、手作りおやつの開もできているところがあった。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	4	市の条例等に基づいた開所日及び時間を遵守している。第一・第二東恋ヶ窪学童、第一日吉町学童は私学に通う児童への対応もミスなく開所できていた。	4	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	市の配置基準に基づいた職員配置を行っていた。	3	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者が配置され施設内に掲示されていた。非常勤職員も放課後児童支援員認定資格を持っているものがあり適正に配置されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類については、施錠できるキャビネットに保管し適正に取り扱っていた。事業報告書及び月報等は遅れることなく市へ提出していた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	全ての施設が常に清潔で明るい環境づくりを保っており、毎日の床・トイレ・水回りの清掃がされている。定期的な机や手洗い場の磨き掃除を行っていることで清潔に保たれていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	仕様書に基づいた点検等は遅滞なく実施され、報告もされていた。	3	3

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	第一東恋ヶ窪学童 78.5%	第一東恋ヶ窪学童 79.0%	第一東恋ヶ窪学童 92.9%	第一東恋ヶ窪学童 83.5%
	第二東恋ヶ窪学童 72.3%	第二東恋ヶ窪学童 93.3%	第二東恋ヶ窪学童 108.0%	第二東恋ヶ窪学童 91.2%
	第一日吉町学童 64.1%	第一日吉町学童 62.3%	第一日吉町学童 63.8%	第一日吉町学童 63.4%
	西恋ヶ窪学童 61.1%	西恋ヶ窪学童 63.6%	西恋ヶ窪学童 68.8%	西恋ヶ窪学童 64.5%
	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)
利用者満足度(%)	第一・第二東恋ヶ窪学童 92.1%	第一・第二東恋ヶ窪学童 97.2%	第一・第二東恋ヶ窪学童 97.0%	第一・第二東恋ヶ窪学童 95.4%
	第一日吉町学童 100.0%	第一日吉町学童 100.0%	第一日吉町学童 100.0%	第一日吉町学童 100.0%
	西恋ヶ窪学童 93.0%	西恋ヶ窪学童 94.7%	西恋ヶ窪学童 100.0%	西恋ヶ窪学童 95.9%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートでは、全体に対しての満足度において、99%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、引続きとても高い水準を維持している。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	狭隘状況の心配の声に関しては分散保育の体制をとり安心して過ごせるように配慮していた。トイレについて意見が多かったが、修繕対応に関する回答は市で行った。天井、壁のカビ除去やコーキング作業を自主的にを行い尽力してくれていたことで、保護者が安心してくださっていた。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	書類及びパソコンは書庫へ施錠の上格納し、適正に取り扱っている。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	年間をとおして苦情はなかった。保護者から相談があった場合には、早急な解決を図るため報告連絡体制を整えていた。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	書類及びパソコンは書庫へ格納し施錠し、適正に取り扱っている。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	団体が主催するコンプライアンス動画研修は職員全員が受講し、子ども基本法の研修等も積極的に受講していた。市で主催したアレルギーエビベン研修やジェンダー研修、障害児への関りについての研修等、積極的な参加があった。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	児童の毎日の変化等を確認し、細やかに把握していた。1日の保育の流れをボードで示し、全体の児童にとって見通しが立つように周知していた。施設内の整理整頓、落ち着く場所の確保等児童の特性に合わせて過ごしやすい環境を整え、障害の有無に関わらず同じような経験を積むことが出来るよう心掛けていた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の準の特性に 評価した	自然災害等への対応	4	全体の施設において自然災害等に対する訓練を行っており、児童の心の安定を配慮した上で職員が不審者に紛争したり、紙芝居を活用したり、警察の方をお招きした不審者訓練など工夫を凝らしていた。また、下校時刻で地震発生と想定した学校と学童保育所の合同訓練を実施していた施設もあり熱心に取り組んでいた。	4	4
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	4	地域で活動している方に来てもらい、トランプやロープを使ったマジックショーを披露していただいた。子どもたちからもメッセージカードをお礼に渡し交流を図っていた。他にも、木材を提供してくださる方の協力を得て木工工作を行うなど、地域の人材と運営を結びつけることができていた。自主事業においては、3学童合同交流会を五小体育館にて実施し、学童保育所のOBも集まり縁日のようにして楽しみ、地域づくりの場となっていた。行事や分散保育時の学校の借用においては、学校の協力と理解を得た上で実施できていた。狭隘状況が発生している施設では、放課後子どもプラン委員と連携し参加人数の確認は委員さんが動いてくださる等信頼関係が出来ていた。	4	4
	配慮を要する児童への対応について	3	アレルギーのある児童の保護者との事前面談を行い、おやつ提供前の2人以上による原材料チェックを行っていた。エビペンチェックも確実にを行い、保護者との確認も怠らず行っていた。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案 する状況 内容の 評価の 選定時の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
					有	有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
					有	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	施設の狭隘状況及び地域の人材を生かした演奏会等の行事開催に応じて、学校の協力を得て学校施設を借用する等、学校と地域の方々との調整力を発揮し充実した学童保育運営を行っていた。また、保護者等と適時情報交換を行い、障害児やアレルギー児の対応について、職員間で情報共有等を行いながら、安心・安全な保育が実施されていた。また、地域の方々の協力を得て、あやとり体験、マジックショー開催、木工工作、じゃがいも収穫体験等を行うとともに、放課後子どもプランと共催で水鉄砲行事を実施するなど、児童の健全育成につながる多様な体験・活動を提供していた。 引き続き、学校や地域等との連携を深めながら保育の充実を図るとともに、安心・安全な施設の管理・運営を期待したい。	3	3
主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	指定管理10年目となった。新型コロナウイルス感染症が5類になったこともあり、しばらく実施出来なかった手作りおやつや手作り昼食などの行事も実施することができた。5類になったとはいえ感染症対策については、気を抜かず、昨年度同様、学校の協力のもと、教室や体育館、校庭を使用しながら分散保育を行った。より良い保育を行えるよう、職員は研修を受講し、内容等を職員間で共有した。また、他現場に入り、よい点は持ち帰り、改善すべき点は伝え合うことで、より良い学童保育所運営に努めた。 保育のことや、対応に迷ったり、トラブルが起きたときには、法人内で共有、相談し、市にも相談、報告を密に行った。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	地域の方々との関係を大切にしており、その方たちの協力を得て行事を開催したり、マジックショーの披露をしていただいたりしていた。子どもたちからは、お礼のメッセージカードを渡し、双方向での交流がなされていた。職員の退職等への対応についても、法人として代替職員を適切に配置し、保育に当たっていた。令和6年度からの新たな指定管理期間においても、引き続き誠実に施設の管理運営を行っていただきたい。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	ひかり児童館、第一・第二・第三・第四光町学童保育所、第三泉町学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	株式会社 明日葉	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

令和3年度までは前指定管理者(灰色部分)

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入	111,599,268	132,904,745	131,230,959	375,734,972
収入内訳				
指定管理料	111,599,268	129,431,650	127,721,659	368,752,577
利用料金	0	0	0	0
その他	0	3,473,095	3,509,300	6,982,395
支出	105,597,359	135,528,307	139,732,634	380,858,300
収支差額	6,001,909	▲ 2,623,562	▲ 8,501,675	▲ 5,123,328

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	指定管理期間2年目の中、消毒の徹底を続けていたことや要望を受けた児童館幼児室等の新しいおもちゃの導入を行ったことにより消耗品費が増となったこと、加配職員が見込みより多く必要となり増とはなったが、収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書について各施設職員が内容を把握し、それに基づき業務が実施されていた。提案している自主事業についても計画に沿って実施していた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	第一光町学童保育所において1件一日保育の把握ミスがあったが、私学の予定を会議で読み上げ、職員全員で情報の把握する等、その後適切に対処し改善している。	3	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	協定書上の必要な職員・支援員等を配置し、日々の運営も基準を満たした職員配置をしていた。	3	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者を確保し、施設内に掲示していた。放課後児童支援員及び、認定研修受講資格を持つ者が配置されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	4	書類は施設できる書棚に保管するなど適正な管理をしており、事務室内は書類が整理整頓されていた。情報共有についても、毎日の終礼や、できごと共有ノートを職員全員の確認欄を作るなど工夫されていた。	4	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	日常業務の中で日常保守点検チェックシート等により職員による清掃が行われ、施設が清潔に保たれていた。蛍光灯の掃除やコンセントを漏電防止のものに取り換えるなど、こまめに施設整備していた。	4	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	保守点検業務委託等の計画に基づき、各種点検等の実施されていた。	3	3

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	ひかり児童館 17,713人	ひかり児童館 24,539人	ひかり児童館 30,729人	ひかり児童館 24,327人
	第一光町学童 57.8%	第一光町学童 59.7%	第一光町学童 59.3%	第一光町学童 58.9%
	第二光町学童 50.5%	第二光町学童 71.1%	第二光町学童 80.6%	第二光町学童 67.4%
	第三光町学童 42.9%	第三光町学童 53.4%	第三光町学童 74.9%	第三光町学童 57.1%
	第四光町学童 36.3%	第四光町学童 39.0%	第四光町学童 49.0%	第四光町学童 41.4%
	第三泉町学童 86.1%	第三泉町学童 88.3%	第三泉町学童 89.3%	第三泉町学童 87.9%
	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)
利用者満足度(%)	ひかり児童館 92.0%	ひかり児童館 90.0%	ひかり児童館 96.0%	ひかり児童館 92.7%
	第一光町学童 96.6%	第一光町学童 100.0%	第一光町学童 100.0%	第一光町学童 98.9%
	第二光町学童 100.0%	第二光町学童 93.6%	第二光町学童 100.0%	第二光町学童 97.9%
	第三・第四光町学童 100.0%	第三・第四光町学童 94.7%	第三・第四光町学童 97.4%	第三・第四光町学童 97.4%
	第三泉町学童 89.2%	第三泉町学童 100.0%	第三泉町学童 100.0%	第三泉町学童 96.4%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートを10月に実施。全体に対しての満足度において、98.7%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、前年よりも高い水準となっていた。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	要望を受け、児童館での日曜開館やリトミック行事の実施等を実施していた。学童も、遊戯室での体を動かす時間の確保や校庭遊びの時間を増やしたり、光図書館で本を借りて児童が読めるようにするなど要望を受け実施していた。	4	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートの職員に対しての満足度において、97.1%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、前年よりも高い水準となっている。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	第一光町学童で1件、第三・第四光町学童保育所で2件苦情があったが、速やかに改善対策を検討し、保護者に丁寧な説明を行い、その後改善対策を徹底されていた。	3	3
	個人情報が適切に取り扱われていたか	3	個人情報記載された書類やパソコンについては、施錠できる書棚に保管し適切に管理していることを確認した。第二光町学童では窓の外から室内が見えないよう装飾を工夫していた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	研修をアーカイブ化しており、空き時間に各自が研修を受けることができる。また、プレイリーダー講習会やつくしんぼ・ヤングケアラー研修や、外部の研修にも積極的に参加していた。	4	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	昨年度に引き続き障害者差別解消法の資料・マニュアル等を周知し、外部研修やつくしんぼの研修にも積極的に参加した。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の 水の 準の 特性に 評価に 応じた	自然災害等への対応	4	避難訓練は原則毎月実施した。児童館では災害時のマニュアル等は適切に見えるところに保管され、職員の消防役割の一覧も掲示。公民館と4月に合同避難訓練を実施した。学童では、警察による不審者訓練も実施した。	4	4
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	4	光公民館との映画会等、併設施設を生かした活動を行った。児童館では学校キャンプに職員が参加し、学童でも、近隣の方に感謝の手作りの贈り物や市民フェスティバルへの参加、農園での収穫体験等地域との連携を行っており、前年度よりも積極的に交流を行った。	3	3
	配慮を要する児童への対応について	4	学童では、加配児には障害児入所協議会で決定した適切な加配職員を配置し、保護者とも適宜コミュニケーションをとっていた。引き続き毎日昼礼等でおやつ成分表の読み上げを行っていた。第二光町学童では毎月おやつメニュー表をアレルギー児に配布していた。	4	4 及び 3 ※1

※1…ひかり児童館、第一・第二光町・第三泉町学童は4、第三・第四光町学童は3(第三・第四光町学童がR3新設で別の評価票だったため)。他項目は同評価
 ※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案 す施 状 内 評 況 容 価 に の 選 定 時 の 内 容	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
		有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	実施 有無	実施 有無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
		有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	実施 有無	実施 有無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	指定管理期間2年目となり、前年度よりも自主事業や学校キャンプなど地域との連携をより積極的に行い、市への報告も遅滞なく適切になされるなど、安定した施設の管理・運営がなされていた。また、昨年度のアンケートや利用者懇談会等での利用者の要望等を迅速に対応しサービスの向上に努めていることにより、利用者アンケートの満足度が昨年度よりも高くなる結果につながった。 児童館については、日曜開館等の自主事業や季節の行事や工作イベント等も創意工夫をして実施するなど、来館者増につながる取組が実施されていた。また、公民館等との合同行事としてわいわいまつりや、お花を植える活動など併設館を生かした活動も実施できていた。 学童保育所については、降所ミス等が数件発生してしまったが、その後速やかに改善策を講じ、保護者会等で説明するなど丁寧に誠意のある対応を行っており、毎日の職員ミーティング等で障害児やアレルギー児の対応について情報共有等を行いながら、安心・安全な保育が実施されていた。 今後も引き続き、学校及び地域等とのつながりや利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用者のニーズを捉えた効果的な行事等を実施するとともに、安心・安全な施設の管理運営に努められることを期待したい。	3	3
主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	本年は指定管理2年目となりました。2年目は、初年度の運営を改めて振り返りつつ、より利用者に寄り添った運営を心掛けていきました。前指定管理者から引き継いだ行事を、更にブラッシュアップさせて実施しました。また、前年度の利用者アンケートにて要望されていた「日曜特別開館」を自主事業として実施したり、学童保育所では昨年度実施できなかった「学習支援タブレット」の運用を開始する等、提案事業を実施できました。他に、提案事業として初年度から実施している「長期休業期間配食サービス事業」は、本来の提案に沿った本運用を開始できました。多くの自主事業を実施できたことで、おおよその水準を満たしていると感じます。また、地域との協力・連携を大切にすることを目標とし、地域で活動している団体や、近隣小学校の保護者が主体となったキャンプ等、様々な地域の方と繋がることのできたことは、大変嬉しいことでした。3年目の課題としては、児童館は子どもがより参画できるような運営・行事作りを目指します。 また、第一光町学童保育所で1件発生した「開所事故」及び、第三・第四光町学童保育所で発生した2件の「降所事故」が発生したことは猛省です。事故発生直後、児童・保護者には謝罪し、直ちに所属職員・統括・マネージャーを交え、再発防止策を講じました。改善策として登所児童の確認を複数人で行なう、また複数校の児童が所属している学童保育所については、所属校の予定表を把握する等、これまで実施していた管理をさらに改善向上させました。令和6年度はこれらの反省を踏まえ、在席児童の安全安心を更に高めるために、登降所の管理を徹底し、これまで以上の保育内容の質の向上を目指します。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	児童館・学童保育所の運営について、適切かつ丁寧に取り組んだことを高く評価する。利用者の要望を把握し、それらを運営に反映させていた。また、職員研修について、動画による研修を職員が受けたい時間に受けられる仕組みが構築されていた。さらに、地域との交流を積極的に推進していた。ただ、本年度において、850万円以上のマイナス収支となっている点が懸念される。担当課とも必要な協議、調整等を行いながら、管理運営を行っていただきたい。	3	3